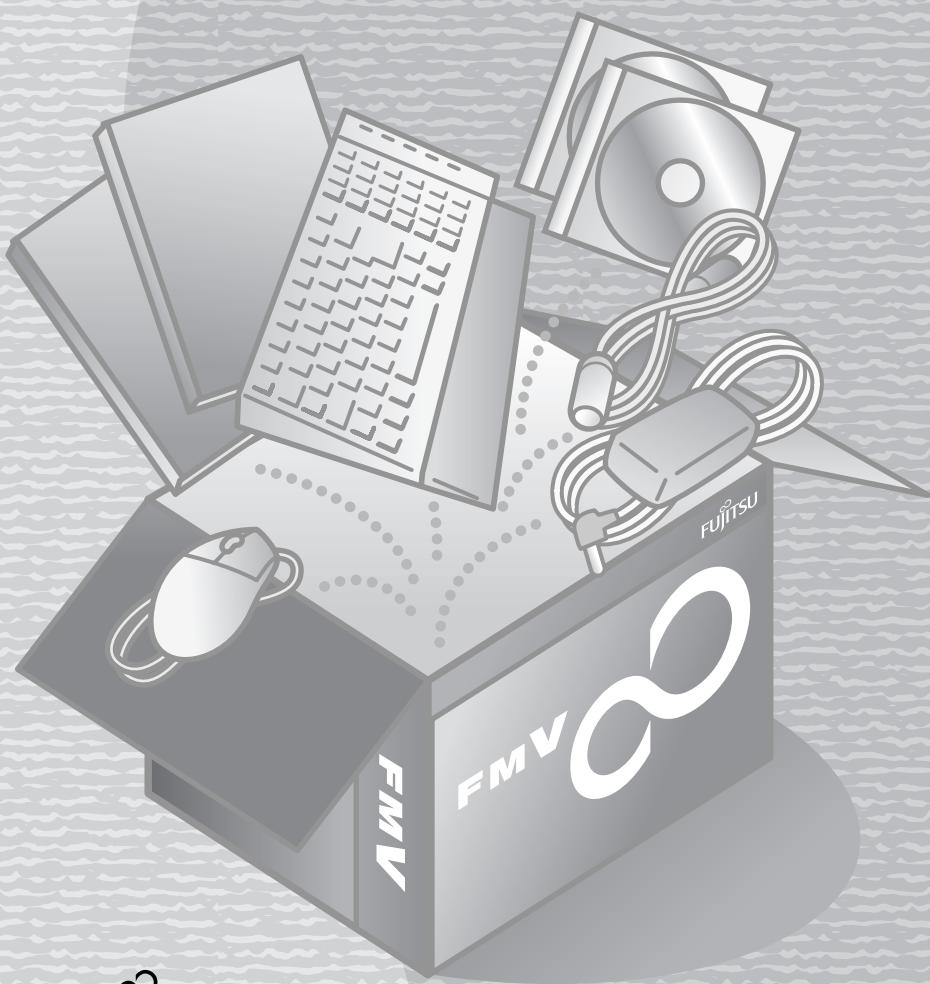


CE75L9/F

複数台のパソコンを接続してホームネットワークを構築する方法や、ホームサーバー機能を使ってできること、ご利用中のトラブル対処方法などについて記載しています。

ホームサーバー機能 取扱説明書



FUJITSU

- 1 ホームサーバー機能のご紹介
- 2 作業を始める前に
- 3 ホームサーバー機能のセットアップ
- 4 他のパソコンのセットアップ
- 5 ホームサーバー機能を使う
- 6 こんなときには

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」をご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品に接続したパーソナルコンピュータでのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本製品とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

ホームサーバー機能のマニュアルについて

ホームサーバー機能のマニュアルは、次の2つが用意されています。必要に応じて、該当のマニュアルをご覧ください。

マニュアル名称	マニュアルの内容
取扱説明書（このマニュアル）	ホームサーバー機能を使うための初期設定について、説明しています。ホームサーバー機能を使用する前に、このマニュアルに従って設定を行ってください。また、ホームサーバー機能の状態をご購入時の状態に戻す（初期化）方法やアクシデント時の対処方法も記載しています。
使い方ガイド（HTMLマニュアル）	「画面で見るマニュアル」に登録されている、HTML形式のマニュアルです。 ホームサーバー機能の詳細な使い方や、利用環境を変更する方法を記載しています。

HTMLマニュアルの開き方

- 1  (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. 関連するマニュアル」→「ホームサーバー機能」の順にクリックします。
マニュアルが表示されます。

このマニュアルの表記について

画面例、イラスト、および操作手順について

このマニュアルに掲載されている画面、イラスト、および操作手順は開発中の製品をもとに作成されたものです。改善のため、予告なく変更することがあります。
また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をシングルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、ダブルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none">・キーボードの「サポート」ボタンを押す・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック
	CD-ROM／DVD-ROMを表しています。

製品などの呼び方について

本書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER CE75L9/F	本製品
ホームサーバーかんたんセットアップ CD	かんたんセットアップ CD
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005	Media Center Edition
Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版 Service Pack1	Windows XP、または SP1
Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版 Service Pack1	
Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版 Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載	Windows XP、または SP2
Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版 Service Pack2 セキュリティ強化機能搭載	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Internet Explorer 6.0、 Microsoft® Internet Explorer 5.5、 Microsoft® Internet Explorer 5.01、および Microsoft® Internet Explorer 5.0	Internet Explorer 5.0 以降、または Internet Explorer
TVfunSTUDIO®	TVfunSTUDIO
MediaStage Standard Edition	MediaStage
G-GUIDE™ for Windows® System	G-GUIDE
富士通サービスアシスタント V3.2	サービスアシスタント
Bluetooth®	Bluetooth

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標であり、弊社へライセンスされています。

TVfunSTUDIO は、松下電器の登録商標です。
G-GUIDE は、ジェムスター社の登録商標です。

MyMedia は富士通株式会社の商標です。
Intel、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

AMD、AMD Arrow ロゴ、AMD Athlon、AMD Duron ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices Inc. の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2005
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

電波に関する注意事項

ワイヤレス・インタオペラビリティ

本製品は、直接スペクトラム拡散方式 (DS-SS: Direct Sequence Spread Spectrum) 無線テクノロジーを基礎とするワイヤレス LAN (無線 LAN) 製品との相互通信システムの協調を実現するように設計されています。また、ワイヤレス LAN 製品の相互接続性を検証する「Wi-Fi Alliance」が定義する、ワイヤレス LAN 標準の「Wi-Fi®」に準拠しております。

電波放射の環境への影響

- ・本製品は、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、本製品が放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
- ・本製品は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ・ある状況や環境において、本製品の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
 - 飛行機内での本製品の使用
 - 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- ・特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確に分からぬ場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について問い合わせをしてください。

電波放射の人体への影響

本製品から放射される出力パワーは、FCC 電波放射限界よりはるかに低くなっています。それでも、本製品は、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中は本製品のアンテナ部分に極力触れないでください。

干渉に関する注意事項

- ・本製品は、高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射します。
- ・このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- ・本製品がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本製品の電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようしてください。
 - 本製品と受信機の距離を離す
 - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本製品を接続する
 - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- ・本製品、および付属品の不正な改造、指定された以外の代替品等の接続は行わないでください。

- ・本製品、および付属品の不正な改造や、指定された以外の代替品等の接続により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。
- ・近くに他のチャンネルを使用しているワイヤレス LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用しているワイヤレス LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔をあけるように変更して干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用しているワイヤレス LAN 機器から 3m 以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。
- ・IEEE802.11g と IEEE802.11b の混在環境においては、IEEE802.11g は IEEE802.11b との互換性をとるため IEEE802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE802.11g と IEEE802.11b を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してお使いください。

この機器の使用上の注意

2.4DS/OF4



上記表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- ・万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- ・不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口までお申しつけください。

海外での使用について

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

無線機器との通信について

Bluetooth 機器とは通信規格が異なるため通信できません。

航空機内の使用について

航空機内では使用しないでください。罰せられる場合があります。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意事項

※ 重要

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどとワイヤレス LAN（無線 LAN）のアクセスポイント（ワイヤレス LAN ステーション、ワイヤレスブロードバンドルータ、ファミリーネットワークステーション、FMV ステーション、本製品など）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- ・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN のアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

ワイヤレス LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためにには、本製品やワイヤレス LAN のアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定を取扱説明書に従って行ってください。

なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、ワイヤレス LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

目次

ホームサーバー機能のマニュアルについて	2
このマニュアルの表記について	3
電波に関する注意事項	5
ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意事項	7

第 1 章 ホームサーバー機能のご紹介

1 各部の名称と働き	12
2 本製品でできること	14
テレビを見る、録画する	14
無線でインターネット接続を共有する	15
ファイルを共有する	15
外出先からアクセスする	16
3 モバイルアクセスサービスについて	17
モバイルアクセスサービスの概要	17
モバイルアクセス時のセキュリティ対策	18
モバイルアドレスとダイレクトアドレス	18
4 本製品の内部構成	20
ホームサーバー機能部と Windows 部	20
ホームサーバー機能を使用しない場合	21

第 2 章 作業を始める前に

1 接続形態を確認する	24
インターネットに接続するための機器	24
ホームネットワークを構成する機器	25
2 必要なものをそろえる	26
本製品と付属品	26
インターネット接続に必要なもの	26
ホームネットワーク構築に必要なもの	27
3 ルータの設定を確認する	28
4 セキュリティソフトの設定を確認する	29
「Norton AntiVirus」をお使いの場合	29

第 3 章 ホームサーバー機能のセットアップ

1 セットアップの流れ	32
2 セットアップ前の準備	33
モデム、ルータとの接続	33
ホームサーバー機能部と Windows 部の接続	36
シリアル番号を書き写す（ワイヤレス LAN 接続のとき）	37
3 電源を入れる	38
4 アクセスポイント設定	39
5 モバイルアクセスを使うための設定	43
モバイルアクセスセンターに登録する	43
正しく設定できたか確認する	46
6 メールチェックの設定	47
パソコンのメール設定を反映する （「Outlook Express」または「@ メール」をお使いの場合）	47
メール設定を入力する （「Outlook Express」または「@ メール」以外をお使いの場合）	49
正しく設定できたか確認する	51
7 リモートデスクトップを使うための設定	52
8 録画予約を行うための設定	54

第4章 他のパソコンのセットアップ

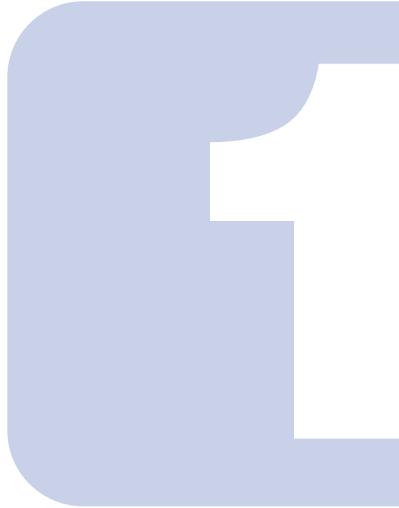
1 セットアップの流れ	58
2 セットアップ前の準備	59
Windows ログオン名の設定	59
ワイヤレス LAN 接続のときの準備 (Mr.WLANner 未添付のパソコンの場合)	61
LAN ケーブル接続のときの準備	67
インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定	68
3 セットアップを開始する	70

第5章 ホームサーバー機能を使う

1 家庭内のパソコンから使う	76
ホームネットワーク内でトップページを開く	76
フォルダを開く	77
STATUS ランプの状態を確認する	79
テレビを見るには	80
2 外出先から使う	81
モバイルアドレス、ダイレクトアドレスを準備する	81
外出先でトップページを開く	82
外出先から本製品を操作する（リモートデスクトップ）	86
3 ワイヤレス LAN のセキュリティを強化する	91
本製品のセキュリティ機能	91

第6章 こんなときには

1 設定を初期化する	94
「管理者」パスワードの初期化	94
設定の初期化	95
2 ホームサーバー機能を終了する	98
3 よくあるトラブルと解決のチェックポイント	99
各機器の電源を入れる順番がわからない	99
ホームネットワークウェアのセットアップができない	99
ワイヤレス LAN で接続できない	99
録画予約ができない	100
留守番カメラが使えない	101
4 Q&A	102
接続に関して	102
ワイヤレス LAN に関して	102
ホームネットワークウェアのアルバムに関して	103
モバイルアクセスに関して	103
リモートデスクトップに関して	104
お手軽メールチェッカーに関して	105
セキュリティに関して	105
動画再生に関して	105
表示されるエラーに関して	106
システムに関して	106
STATUS ランプに関して	107
その他	108
索引	109



第1章

ホームサーバー機能のご紹介

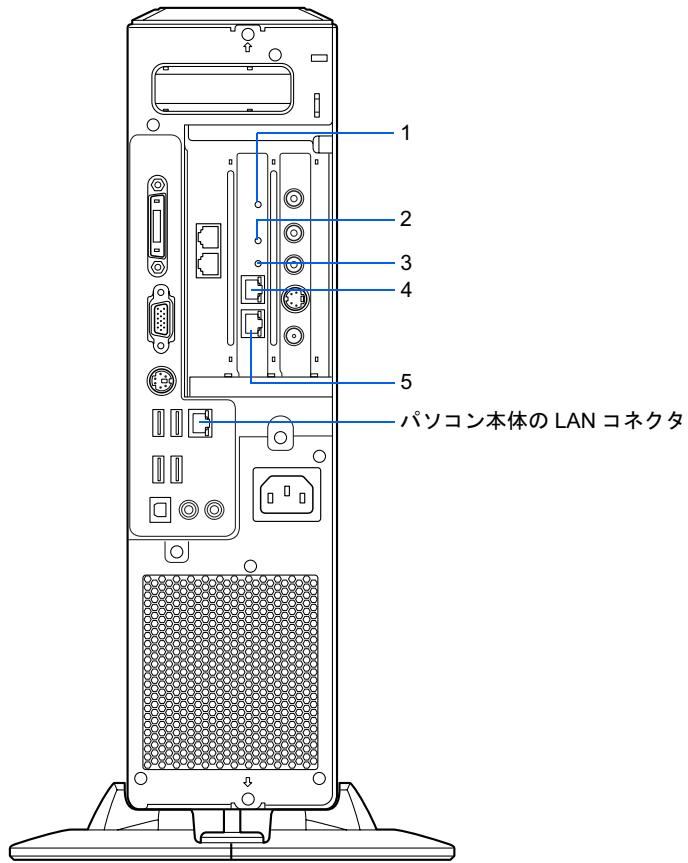
本製品には、ホームサーバー機能が搭載されています。ホームサーバー機能には、ワイヤレス LAN の電波を中継するためのワイヤレス LAN のアクセスポイント機能や、外出先から本製品にアクセスするための機能が搭載されています。

ここでは、ホームサーバー機能を使ってできることを紹介します。

1 各部の名称と働き	12
2 本製品でできること	14
3 モバイルアクセスサービスについて	17
4 本製品の内部構成	20

1 各部の名称と働き

本製品固有部分の名称と働きを説明します。



1 RESET ボタン

ホームサーバー機能の設定を初期化するときに押します。

※ 重要

本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄するときは、RESET ボタンを押して設定を初期化してください。

POINT

RESET ボタンは、設定の初期化を行う場合以外は押さないでください。

2 POWER ボタン

ホームサーバー機能の電源を入れたり、切ったりするときに押します。

3 STATUS ランプ

ホームサーバー機能の POWER ボタンを押すとオレンジ色に点灯し、ホームサーバー機能のシステムが起動し使用可能な状態になると緑色になります。

また、リセット中はオレンジ色に点灯し、ホームサーバー機能を使用していないときは緑色に点滅します。

ホームサーバー機能の電源が入っていない場合は、点灯しません。

また、本製品を高温下の環境に放置するなどして、異常に高温になると、オレンジ色に点滅します。

POINT

STATUS ランプの状態は、「ホームサーバー状態表示」でも確認できます。詳細については、「STATUS ランプの状態を確認する」(▶ P.79) をご覧ください。

4 LAN コネクタ 1

ルータと接続します。

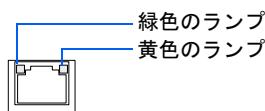
5 LAN コネクタ 2

パソコン本体の LAN コネクタと添付の LAN ケーブルで接続します。

POINT

LAN コネクタ 1 と LAN コネクタ 2 のランプ

LAN コネクタ 1 と LAN コネクタ 2 には、コネクタ上部に 2 つのランプがあります。



2 つのランプは次のように動作します。

- ・緑色のランプ…LAN ケーブルで他のネットワーク機器と接続した場合に点灯します。
- ・黄色のランプ…本製品からデータを送信中に点滅します(データ受信中は点滅しません)。

POINT

ホームサーバー機能の仕様について

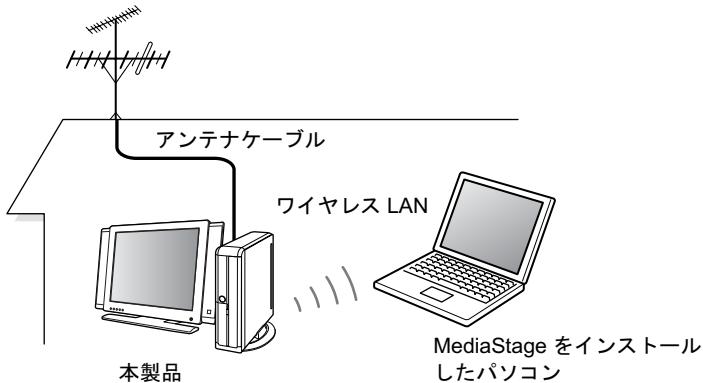
ホームサーバー機能の仕様は、『パソコンの準備』→「仕様一覧」→「その他の仕様」をご覧ください。

2 本製品でできること

ここでは、本製品を使ってホームネットワークを構築した場合に、実現できることを紹介します。

テレビを見る、録画する

本製品にアンテナケーブルを接続すると、TV チューナーアプリケーション（「TVfunSTUDIO」、「G-GUIDE」、「MediaStage」）を使用してテレビを見たり、番組を録画・再生したりできます。



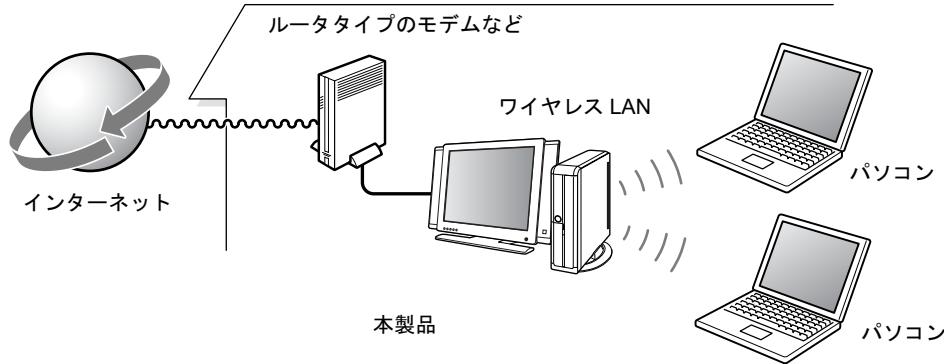
重要

TV チューナーアプリケーション使用時の留意事項

- ・「TVfunSTUDIO」でテレビを視聴／録画／再生できるのは本製品のみです。
- ・「MediaStage」をインストールできるパソコンは、本製品を含めて 4 台までです。なお、複数台のパソコンから同時に映像を再生することはできますが、コマ落ちや音飛びが発生する可能性があるため、1 台での使用をお勧めします。
- ・ワイヤレス LAN（IEEE 802.11g および IEEE 802.11b）経由で映像を再生する場合は、「TVfunSTUDIO」の設定を低速設定（節約画質）にしてください。

無線でインターネット接続を共有する

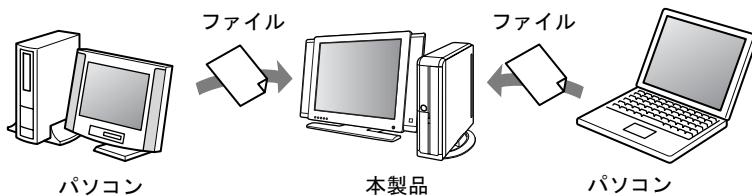
本製品はワイヤレス LAN の電波を中継するためのワイヤレス LAN のアクセスポイント機能を持っているため、ワイヤレス LAN を搭載した複数のパソコンでインターネット接続を共有できます。



ファイルを共有する

家族で使うファイルを本製品内の共有フォルダに保存できます。

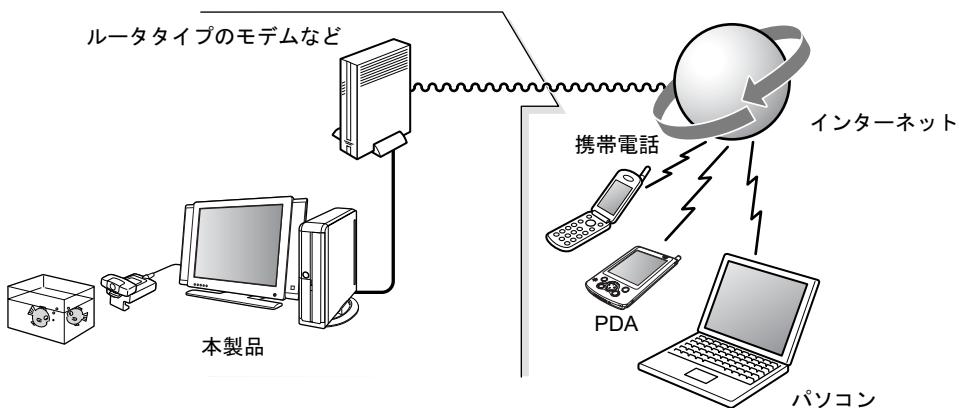
また、本製品には「ホームネットワークウェア」というブラウザから利用するアプリケーションが用意されています。この「ホームネットワークウェア」のアルバム機能を使えば、共有フォルダに保存した画像や動画ファイルを手軽に見ることができます。



外出先からアクセスする

「モバイルアクセスサービス」を使えば、外出先から携帯電話、PDA、パソコンを使って、自宅にある本製品にアクセスし、次のことができます。

- ・Windows XP を搭載したパソコンから、リモートデスクトップ機能を使って本製品を遠隔操作できます。
- ・アルバム機能を使って、写真や動画を見ることができます。
- ・留守番カメラ機能を使って、外出先からペットの様子をチェックしたり、防犯カメラ代わりに使用したりできます。
- ・「お手軽メールチェッカー」で、メールの確認ができます。メールソフトを起動しなくても、ブラウザで手軽に新着メールを読むことができます。
- ・テレビ番組の録画予約ができます。



3 モバイルアクセスサービスについて

外出先から、携帯電話、PDA、パソコンを使って、自宅にある本製品にアクセスできます。リモートデスクトップ機能やアルバム機能などを利用できます。

重要

AzbyClub（アズビィクラブ）への登録

モバイルアクセスサービスをご利用いただくには、あらかじめ、FMV ユーザーズクラブ「AzbyClub」への登録が必要です。

AzbyClubへの登録は、ユーザー登録を行うことで、自動的に行われます。

ユーザー登録の方法および AzbyClub については、『サポート & サービスのご案内』をご覧ください。

プライベート IP アドレスを使っているとき

お客様にプライベート IP アドレスを割り当てるプロバイダの場合、モバイルアクセスサービスはご利用いただけません。詳しくは、契約しているプロバイダにご確認ください。

UPnP 対応のルータが必要です

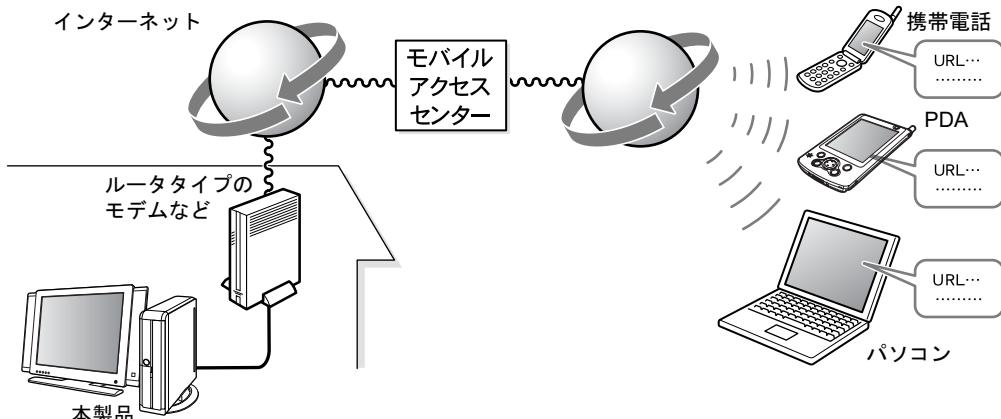
モバイルアクセスサービスを利用して、外出先から本製品にアクセスするためには UPnP 対応のルータが必要です。

モバイルアクセスサービスの概要

モバイルアクセスサービスは、外出先から携帯電話、PDA、パソコンを使って、インターネット経由で自宅にある本製品にアクセスできるサービスです。

あらかじめ、本製品を「モバイルアクセスセンター」に登録しておきます。そして、ご契約のプロバイダを経由してモバイルアクセスセンターに接続し、認証を行ったうえで本製品にアクセスします。

なお、モバイルアクセス時にはプロバイダ利用料、通信料がかかります（モバイルアクセスセンターの利用は無料です）。



モバイルアクセスできる機種

モバイルアクセスサービスは、インターネットに接続できる機能を持った携帯電話、PDA、パソコンから利用できます。

モバイルアクセスサービスを利用できることを確認できた携帯電話、PDA、パソコン名は、順次、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) に掲載する予定です。

モバイルアクセス時のセキュリティ対策

モバイルアクセスセンターに本製品を登録すると、本製品固有の「モバイル ID」と「モバイルパスワード」が発行されます。

モバイルアクセスを行うと、最初にモバイル ID とモバイルパスワードの入力が求められます。そのため、これらの情報を知らない人はアクセスできません。



重要

プライバシーを守るために

モバイル ID やモバイルパスワードは、あなたのプライバシーを守るもので、他の人に知られないように注意してください。

モバイルアドレスとダイレクトアドレス

モバイルアクセスセンターに本製品を登録すると、モバイルアドレスとダイレクトアドレスという 2 種類の URL が発行されます。

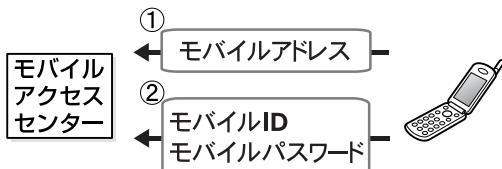
外出先から自宅にある本製品にモバイルアクセスを行うときは、モバイルアドレス、ダイレクトアドレスのいずれかを指定します。

2 種類の URL の違いは、次のとおりです。

モバイルアドレス

モバイルアドレスは、外出先から自宅にある本製品にアクセスするときに入力する URL です。携帯電話や PDA などから、モバイルアドレスを指定してアクセスすると、モバイル ID とモバイルパスワードの入力画面が表示されます。

正しいモバイル ID とモバイルパスワードを入力すると、本製品にアクセスできます。セキュリティの面から、通常はモバイルアドレスのご利用をお勧めします。



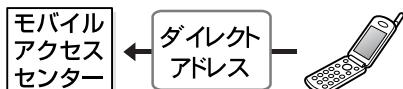
本製品にアクセス可能

ダイレクトアドレス

ダイレクトアドレスは、モバイルアドレスにモバイル ID とモバイルパスワードの情報が追加されたものです。

モバイル ID とモバイルパスワードの入力を省略できるため、操作は簡単になります。反面、本製品へのアクセスを無条件に許可してしまうことになりますので、ダイレクトアドレスは他の人に知られないよう注意してください。

なお、ダイレクトアドレスは、使えないようにすることもできます。「モバイルアクセスセンターに登録する」の手順 7 (⇒ P.45) で、「ダイレクトアドレス」を「使わない」に設定してください。



本製品にアクセス可能

POINT

モバイル ID、モバイルパスワードを変更したいときは

「携帯電話を落としてしまった、ダイレクトアドレスで不正にアクセスされるかもしれない」というときは、モバイルIDとモバイルパスワードを変更すると共に、ダイレクトアドレスを使用しない設定に変更してください。変更方法は、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「4 モバイルアクセスの設定をする」をご覧ください。

HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(⇒ P.2) をご覧ください。

4 本製品の内部構成

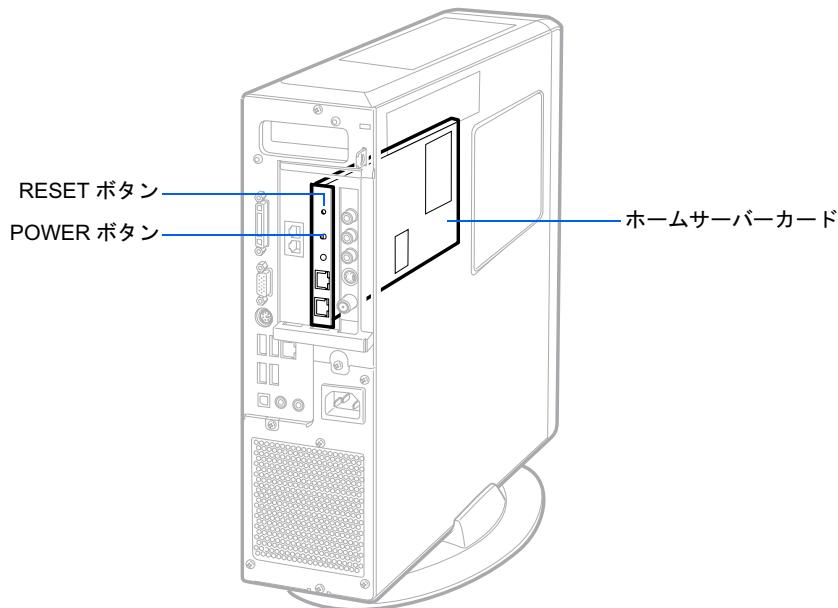
ホームサーバー機能が、本製品内にどのように組み込まれているか説明します。

ホームサーバー機能部と Windows 部

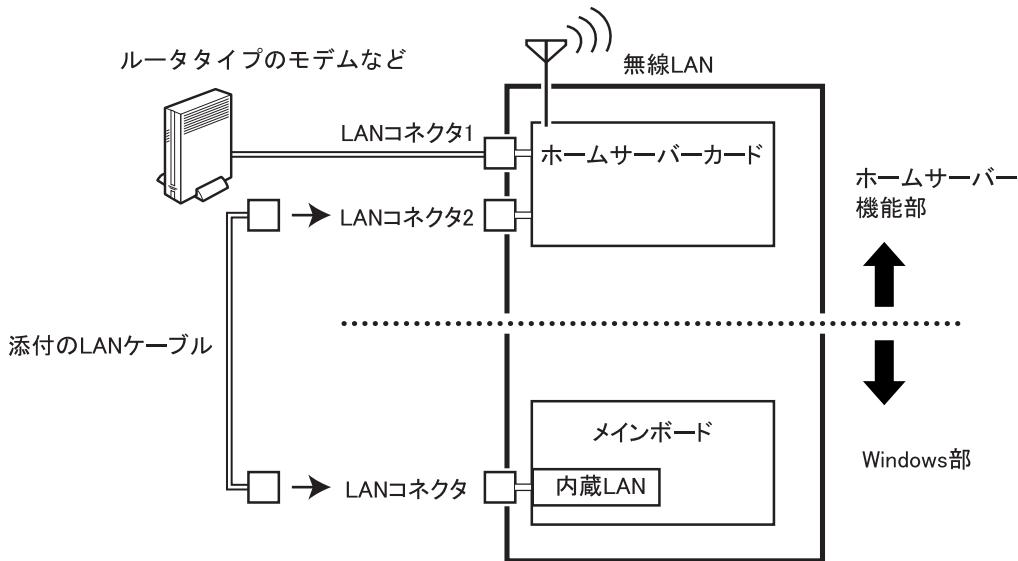
本製品は、1台のパソコンの中に、ホームサーバー機能部とWindows部という2つのシステムが共存している形になっています。

ホームサーバー機能は、拡張カードの形でパソコンに搭載されています（以降、ホームサーバーカードと呼びます）。

ホームサーバー機能は、ホームサーバーカードのPOWERボタンを押すことで、起動、終了することができます。また、ホームサーバーカードのRESETボタンを押すことで、ホームサーバー機能の設定内容を初期化できます。



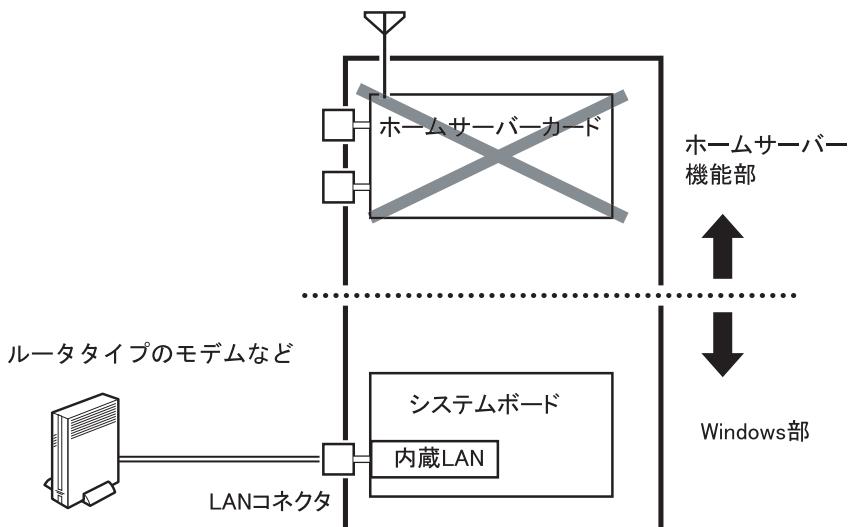
ホームサーバーカードと、パソコンのメインボード (CPU やメモリが搭載されている基板) には、それぞれ LAN 機能が内蔵されています。添付の LAN ケーブルを使って LAN コネクタ同士を接続することで、通信が行えるようになります。



ホームサーバー機能を使用しない場合

ホームサーバー機能が不要になった場合は、次のようにすることで、通常のパソコンとして使用できるようになります。

- ・ ホームサーバーカードの POWER ボタンを押し、ホームサーバー機能を停止します。
停止方法については、「2 ホームサーバー機能を終了する」(☞ P.98) をご覧ください。
- ・ ホームサーバーカードとパソコン本体の LAN コネクタを接続している LAN ケーブルを取り外します。
- ・ パソコン本体の LAN コネクタに、ルータを接続します。



Memo

2

第2章 作業を始める前に

最初に確認していただきたいことと、注意事項などを説明します。

1 接続形態を確認する	24
2 必要なものをそろえる	26
3 ルータの設定を確認する	28
4 セキュリティソフトの設定を確認する	29

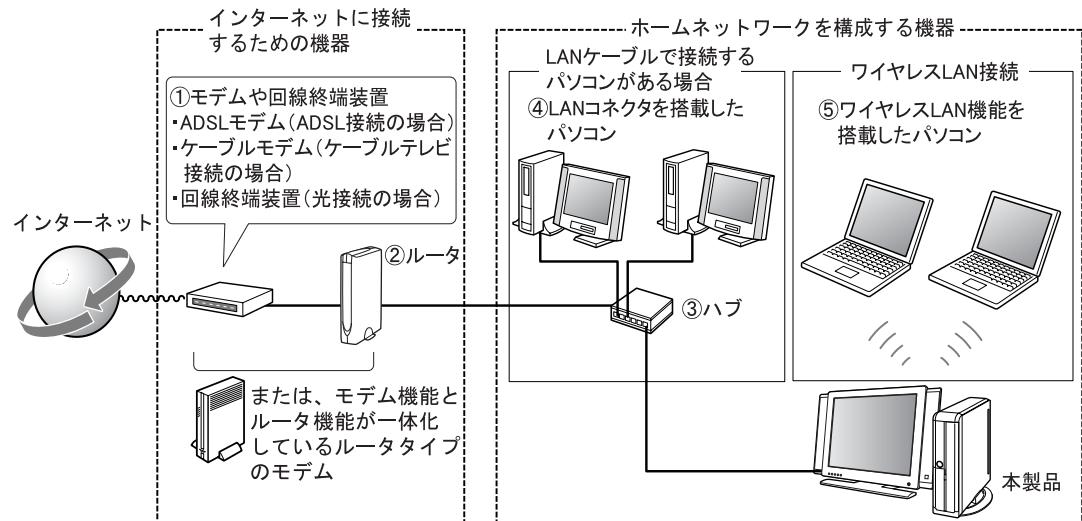
1 接続形態を確認する

ホームネットワークを構築するときの、代表的な接続形態を説明します。

重要

接続台数について

ホームネットワークを快適にご利用いただくため、本製品に接続するパソコンはワイヤレス LAN による接続、LAN ケーブルを使った接続を合わせて、10 台までとしてください。



インターネットに接続するための機器

インターネットに接続するためには、次の機器が必要です。

- ・ モデムや回線終端装置（図中①）…ADSL やケーブルテレビ接続などの回線種別に応じた通信機器が必要です。ご契約のプロバイダや回線事業者が指定する機器を用意します。
- ・ ルータ（図中②）…複数台のパソコンでインターネット接続を共有するために必要です。

重要

外出先から本製品にアクセスする場合

モバイルアクセスサービスを利用して、外出先から本製品にアクセスするためには UPnP 対応のルータが必要です。

なお、モデム機能とルータ機能が一体化したルータタイプのモードもあります。

使用できない機器

本製品は、ダイヤルアップモード、ISDN ターミナルアダプタとは接続できません。

また、モードがワイヤレス LAN 機能を内蔵している場合は、ワイヤレス LAN 機能を無効にしてください。

ホームネットワークを構成する機器

ホームネットワークを構築するためには、次の機器が必要です。

- ・ハブ（図中③）…LAN ケーブルで接続するパソコンがある場合は、LAN 接続を分岐するためのハブが必要です。なお、次の場合、ハブは不要です。
 - LAN ケーブルで接続するパソコンがないときは、ハブは不要です。本製品とルータを直接接続します。
 - ルータにハブが内蔵されている場合、ハブは不要です。ルータのハブに他のパソコンや本製品を接続します。
- ・LAN コネクタを搭載したパソコン（図中④）…100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN 機能を搭載したパソコンが必要です。
- ・ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコン（図中⑤）…IEEE 802.11g または IEEE 802.11b 準拠のワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコンが必要です。

使用できない機器

本製品は、IEEE 802.11a 方式のワイヤレス LAN 機器とは接続できません。

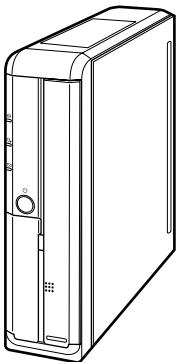
また、他のワイヤレス LAN のアクセスポイントと接続したり、Bluetooth 対応機器と Bluetooth で接続したりすることはできません。

2 必要なものをそろえる

作業を始める前に、必要なものをそろえてください。

本製品と付属品

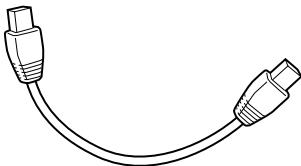
□本製品



□かんたんセットアップ CD



□添付の LAN ケーブル



インターネット接続に必要なもの

□モデムや回線終端装置＋ルータ（またはルータタイプのモデム）

モバイルアクセスサービスを利用して、外出先から本製品にアクセスするためには UPnP 対応のルータが必要です。

□LAN ケーブル（ストレートタイプ）…モデムとルータの接続用
ルータタイプのモデムの場合は不要です。

ホームネットワーク構築に必要なもの

他のパソコン

本製品に接続して使用できるパソコンは、次の条件を備えている必要があります。

項目	条件
対象 OS	Windows XP／2000
ディスプレイ解像度	800×600 ピクセル以上 16 ビットカラー以上
ハードディスク空き容量	20MB 以上
LAN	ワイヤレス LAN (IEEE 802.11g または IEEE 802.11b 準拠) か、有線 LAN (100BASE-TX/10BASE-T : RJ45 コネクタ) を搭載していること
ブラウザ	「Internet Explorer 5.0」以降

ワイヤレス LAN を使って接続する場合の機器

□ ワイヤレス LAN カード…パソコンの台数分

ワイヤレス LAN 機能が標準搭載されているパソコンの場合は、必要ありません。

□ LAN ケーブル（ストレートタイプ）…本製品とルータの接続用 1 本

LAN ケーブルを使って接続する場合の機器

□ LAN カード…パソコンの台数分

LAN 機能が標準搭載されているパソコンの場合は、必要ありません。

□ ハブ…1 台

接続口を十分備えたハブ（パソコンの台数分+本製品接続分）を用意してください。なお、ルータにハブが内蔵されている場合、ハブを別途用意する必要はありません。

□ LAN ケーブル（ストレートタイプ）…ルータとハブ接続用 1 本+ハブと本製品接続用 1 本+パソコン台数分

POINT

カスケード接続できないハブの場合

カスケード接続用のコネクタを備えていないハブを使用する場合は、ハブとルータを接続する LAN ケーブルはクロスタイプが必要です。詳細は、ハブに添付されているマニュアルをご覧ください。

3 ルータの設定を確認する

接続前にルータの DHCP サーバー機能の設定を確認してください。

ホームサーバー機能部と Windows 部にそれぞれ搭載されている LAN 機能の IP アドレスは、ご購入時の設定では自動設定になっています。ルータがホームネットワーク内の機器に IP アドレスを配付する設定 (DHCP サーバー機能が有効になっている状態) になっているか確認してください。

DHCP サーバー機能の設定方法については、ルータのマニュアルをご覧ください。

4 セキュリティソフトの設定を確認する

本製品や他のパソコンでセキュリティソフトが動作している場合、本製品のセットアップや本製品への接続ができない場合があります。事前に、セキュリティレベルなどの設定変更を行ってください。

2

「Norton AntiVirus」をお使いの場合

本製品のご購入時のセキュリティ設定、および『パソコンの準備』で「Norton AntiVirus」の初期設定をした後は、「Norton Internet Worm Protection」が有効になっています。ホームネットワークウェアやリモートデスクトップ機能などの動作がブロックされないよう、「Norton AntiVirus オプション」の「インターネットworm防止」→「プログラム制御」で、次のプログラムの利用を許可する登録を行ってください。

- ・ C:\Program Files\Fujitsu\HOMENW\FNSCSHSV.exe

また、リモートデスクトップ機能を利用するときは、次のプログラムも許可する登録を行ってください。

- ・ C:\WINDOWS\system32\svchost.exe

詳しくは、「Norton AntiVirus」のPDFマニュアルまたはヘルプをご覧ください。PDFマニュアルの開き方については、『FMV活用ガイド』をご覧ください。

「Norton AntiVirus」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

なお、他のファイアウォールソフトをお使いの場合は、お使いのファイアウォールソフトのマニュアルをご覧ください。

Memo

3

第3章

ホームサーバー機能のセットアップ

ワイヤレス LAN のアクセスポイントの設定や、モバイルアクセスの設定を行う方法を説明します。

1 セットアップの流れ	32
2 セットアップ前の準備	33
3 電源を入れる	38
4 アクセスポイント設定	39
5 モバイルアクセスを使うための設定	43
6 メールチェックの設定	47
7 リモートデスクトップを使うための設定	52
8 録画予約を行うための設定	54

1 セットアップの流れ

セットアップの流れは、次のとおりです。

準備

[セットアップ前の準備] (☞ P.33)

ルータとの接続、ホームサーバー機能部と Windows 部の接続、シリアル番号の書き写しを行います。



ホームサーバー機能部側のセットアップ

[電源を入れる] (☞ P.38)

モデム、ルータ、ホームサーバーカード、パソコン本体の電源を入れます。



基本の設定

[アクセスポイント設定] (☞ P.39)

ワイヤレス LAN を使用する場合は、本製品にワイヤレス LAN のセキュリティを強化するための「WEP キー（ネットワークキー）」の設定を行います。

ワイヤレス LAN を使用しない場合は、ワイヤレス LAN 電波の送信を停止する設定を行います。



応用の設定

[モバイルアクセスを使うための設定] (☞ P.43)

モバイルアクセスを行う場合は、モバイルアクセスサービスの利用登録を行います。



[メールチェックの設定] (☞ P.47)

登録したユーザーのメールアドレスを登録します。



[リモートデスクトップを使うための設定] (☞ P.52)

リモートデスクトップ機能を使う場合は、本製品にリモートデスクトップサーバーの設定を行います。

重要

ファイアウォール設定されたパソコンとの接続について

セキュリティソフトが動作しているパソコンは、本製品と接続できない場合があります。その場合、セキュリティソフトのセキュリティレベルなどの設定変更を行うことにより、接続できるようになります。詳細は、お使いのセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

2 セットアップ前の準備

セットアップ前に、次の準備を行ってください。

POINT

事前に Windows セットアップやセキュリティ対策などを行っておいてください

『パソコンの準備』をご覧になり、事前に次のことを実行しておいてください。

- ・Windows セットアップ
- ・「必ず実行してください」(パソコンの初期設定を行うプログラム)
- ・インターネット接続(パソコン本体の LAN コネクタ(☞ P.12)を使用)
- ・Windows Update
- ・ウイルス対策ソフトの初期設定

また、モバイルアクセスを行う場合は、『サポート&サービスのご案内』をご覧になり、ユーザー登録を行っておいてください。

重要

本製品のコンピュータ名について

ご購入時、本製品のコンピュータ名は「FNPC」となっています。このコンピュータ名は変更しないでください。

このコンピュータ名を変更すると、ホームネットワークウェアが動作しなくなります。

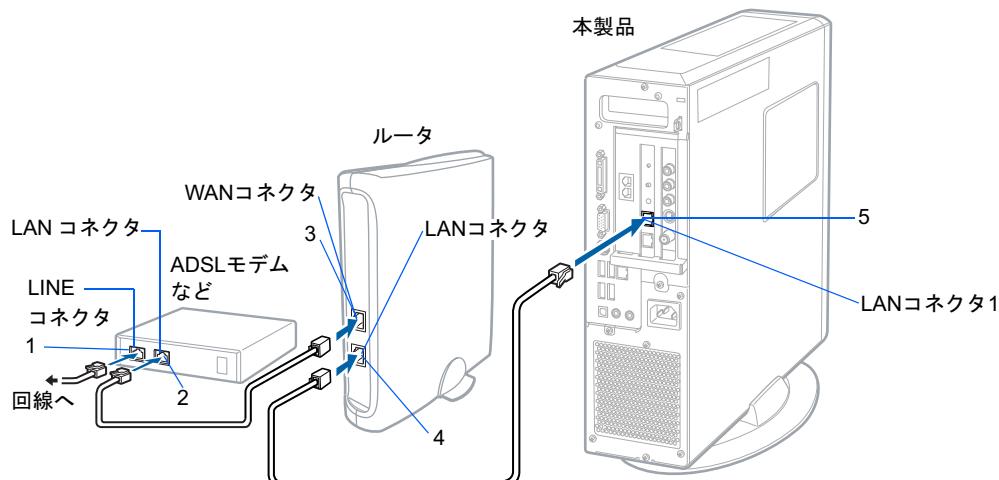
また、ホームネットワーク内では「FNPC」というコンピュータ名を本製品以外に使用しないでください。

3

モデム、ルータとの接続

ワイヤレス LAN のみの場合

モデム(ADSL モデムなど)、ルータ、本製品を LAN ケーブルで接続します。



1 モデムに添付されているマニュアルやプロバイダの指示に従い、モデムのLINEコネクタと回線の接続を行います。

モデムのLINEコネクタは、モデムにより「PHONE」コネクタなどと呼ばれている場合があります。詳しくは、モデムに添付されているマニュアルをご覧ください。

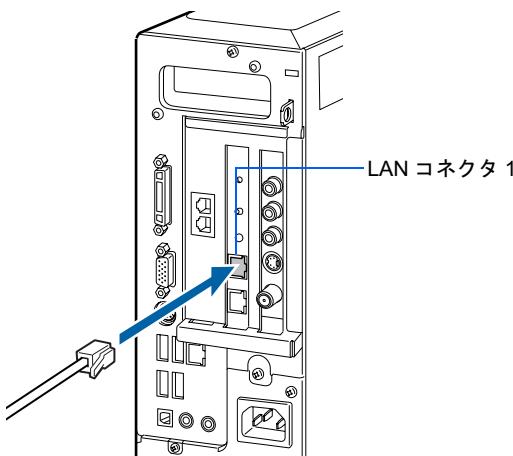
2 LANケーブル（ストレートタイプ）をモデムのLANコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

モデムのLANコネクタは、モデムにより「Ethernet」や「10BASE-T」コネクタなどと呼ばれている場合があります。詳しくは、モデムに添付されているマニュアルをご覧ください。

3 手順2で接続したLANケーブルの反対側をルータ背面のWANコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

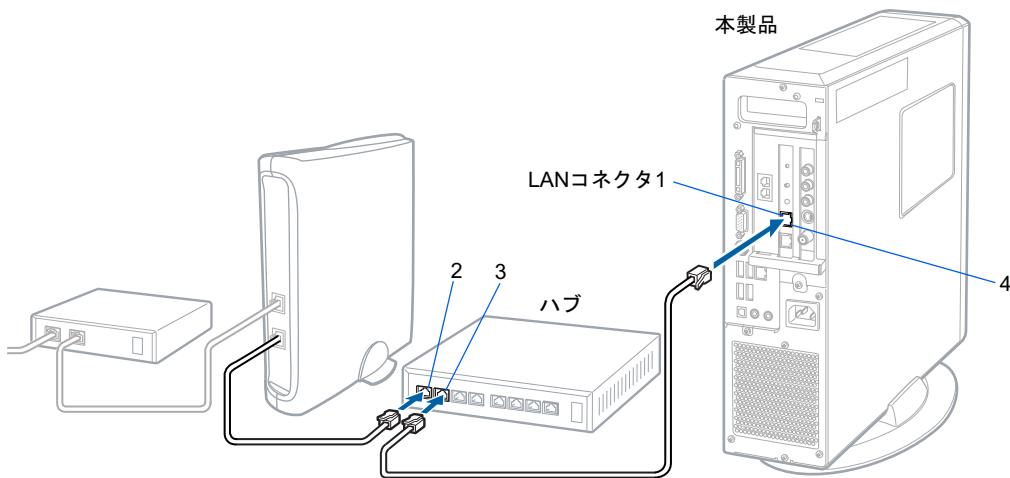
4 LANケーブル（ストレートタイプ）をルータのLANコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

5 手順4で接続したLANケーブルの反対側を本製品背面のLANコネクタ1に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



LAN ケーブルによる接続も行う場合

モデム（ADSL モデムなど）、ルータ、ハブ、本製品を LAN ケーブルで接続します。



- 1** 「ワイヤレス LAN のみの場合」（…▶ P.33）の手順 1～4 を行います。
- 2** ルータのLANコネクタに接続したLANケーブルの反対側を、ハブのLANコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

POINT

接続するコネクタ

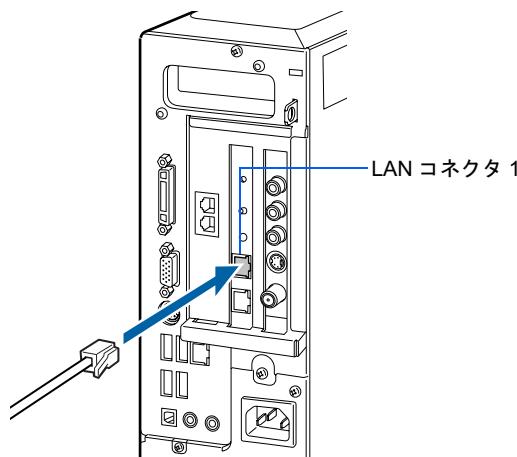
ここで差し込むコネクタは、カスケード接続用です。ハブの種類により、専用のコネクタが用意されていたり、カスケード接続用とパソコン接続用を手動または自動で切り替えたりするタイプがあります。詳細は、ハブに添付されているマニュアルをご覧ください。

カスケード接続できないハブの場合

カスケード接続用のコネクタを備えていないハブを使用する場合は、ハブとルータを接続する LAN ケーブルはクロスタイプが必要です。詳細は、ハブに添付されているマニュアルをご覧ください。

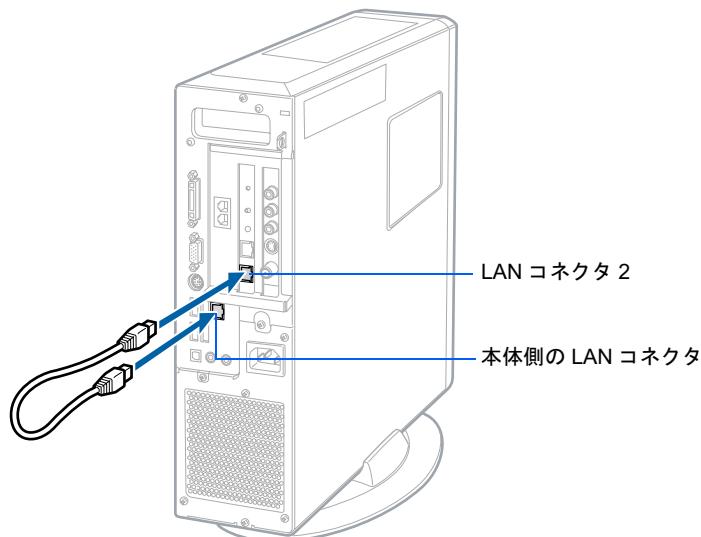
- 3** 別のLANケーブル（ストレートタイプ）をハブのLANコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

- 4** 手順3で接続したLANケーブルの反対側を本製品背面のLANコネクタ1に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



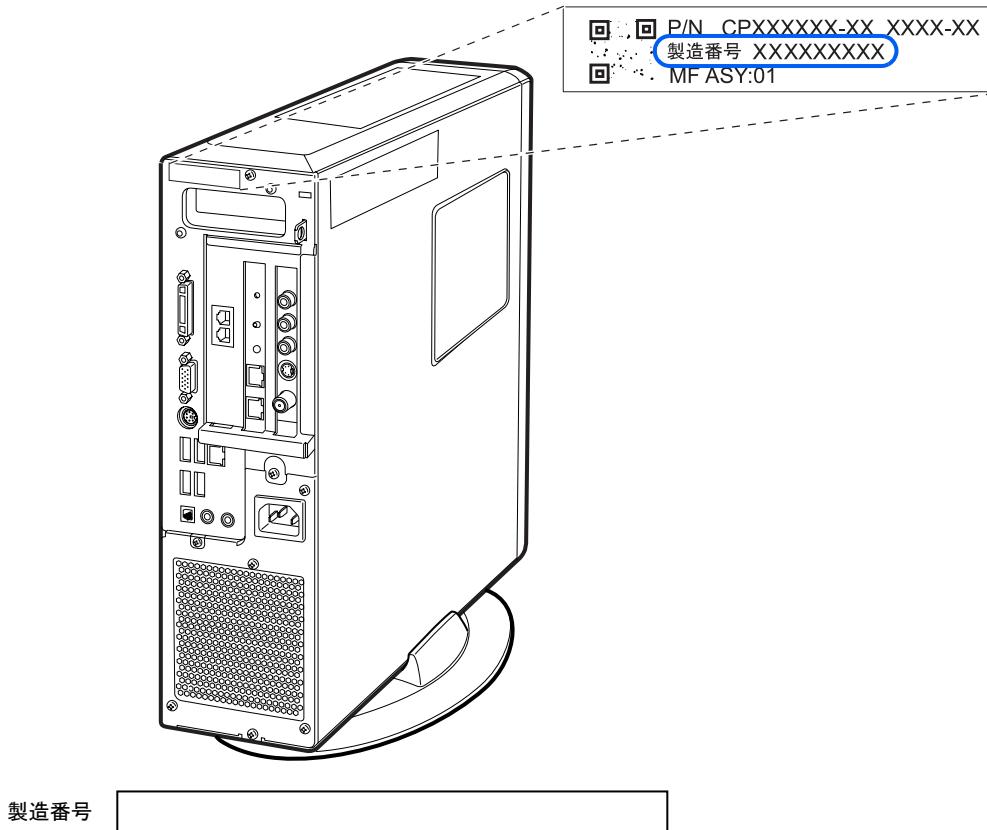
ホームサーバー機能部とWindows部の接続

添付のLANケーブルを、ホームサーバーカードのLANコネクタ2と本体側のLANコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



シリアル番号を書き写す（ワイヤレス LAN 接続のとき）

本製品とパソコンをワイヤレス LAN を使って接続する場合は、セットアップのときにシリアル番号が必要になります。シリアル番号は、本製品の背面のラベル、または保証書に記載されています。事前に確認し、「製造番号」以降の文字を下の欄に書き写してください。



3 電源を入れる

モデム（ADSL モデムなど）、ルータ、ホームサーバーカード、パソコン本体の順番で電源を入れます。

モデム、ルータの電源を入れる

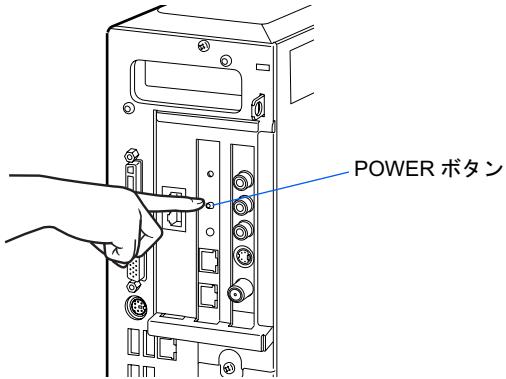
1 モデムの電源を入れます。

2 ルータの電源を入れます。

ホームサーバーカードの電源を入れる

1 ホームサーバーカードの **POWER** ボタンを押します。

STATUS ランプがオレンジ色に点灯します。ホームサーバー機能のシステムが起動すると、STATUS ランプが緑色に点滅します。



パソコン本体の電源を入れる

1 本体前面の電源ボタンを押します。

2 Windows にログオンします。

3 画面右下の通知領域にある、 (ホームサーバー状態表示) を右クリックし、表示されるメニューから「ホームサーバーの使用を開始する」をクリックします。

アイコンが「緑に×印」の状態から「緑」に変われば、ホームサーバー機能が使用可能になります。

「ホームサーバー状態表示」アイコンが「緑」以外の状態のときは、「STATUS ランプの状態を確認する」 (◆► P.79) をご覧になり、アイコンの状態に応じた対処を行ってください。

4 アクセスポイント設定

ワイヤレス LAN を使用する場合は、ワイヤレス LAN のセキュリティを強化するための「WEP キー（ネットワークキー）」を本製品に設定します。LAN ケーブルによる接続のみでホームネットワークを構築する場合や、一時的にワイヤレス LAN の電波の送信を停止したい場合は、ワイヤレス LAN 機能の停止を行います。

重要

本製品のセキュリティ機能

本製品は WEP キー（ネットワークキー）のみ設定できます。WPA や IEEE802.1X などのセキュリティ機能には対応していません。

1 デスクトップの (スタートページ・ホームネットワークウェア) をクリックします。

「@メニュー」から「ホームネットワーク」をクリックして表示される画面からも操作できます。

2 「管理者」でログインします。

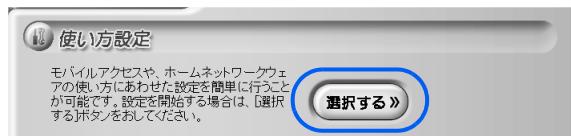


POINT

「管理者」のパスワードを変更したいときは

「管理者」のパスワードは変更することもできます。変更方法は、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。なお、変更後のパスワードを忘れないようにご注意ください。忘れた場合、◎「かんたんセットアップ CD」内の ClearPwd.exe の実行が必要となります。ClearPwd.exe については、「「管理者」パスワードの初期化」(▶ P.94)をご覧ください。HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(▶ P.2)をご覧ください。

3 「使い方設定」の「選択する」をクリックします。

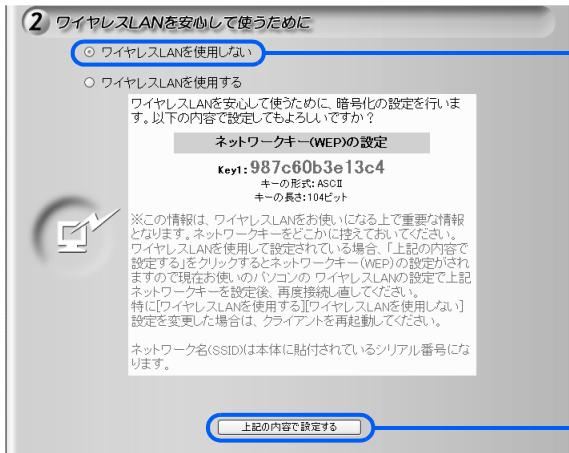


4 「アクセスポイント設定」をクリックします。



■すべてのパソコンを LAN ケーブルを使って接続する予定のとき、または一時的にワイヤレス LAN の電波を停止したいとき

1. 「ワイヤレス LAN を使用しない」の○をクリックして○にし、「上記の内容で設定する」をクリックします。



1 クリックし、○にします。

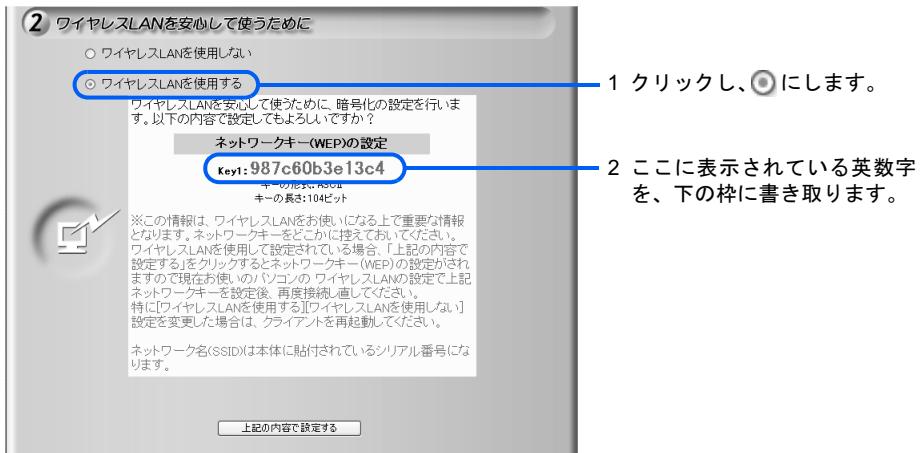
2 クリックします。

「設定します。よろしいですか？」と表示されます。

2. 「OK」をクリックします。
3. 「戻る」をクリックします。

■他のパソコンをワイヤレス LAN を使って接続する予定のとき

- 「ワイヤレス LAN を使用する」のをクリックしてにし、表示されているネットワークキーを下の枠に書き取ります。



Key1 :

重要

WEP キー（ネットワークキー）は必ず書き取ってください

ここで表示されている英数字が、ワイヤレス LAN のネットワークキーとして本製品に設定されます。本製品とワイヤレス LAN 接続するには、パソコン側にも同じ WEP キー（ネットワークキー）を設定する必要があります。パソコンを複数台接続する場合は、すべてのパソコンに同じ WEP キー（ネットワークキー）を設定します。

- 「上記の内容で設定する」をクリックします。
「設定します。よろしいですか？」と表示されます。
- 「OK」をクリックします。
- 「ネットワークキーを控えました」をクリックします。
本製品に WEP キー（ネットワークキー）が設定されます。
- 「戻る」をクリックします。

POINT

設定画面内の選択肢について

「ワイヤレス LAN を安心して使うために」画面内の選択肢は、常に「ワイヤレス LAN を使用する」が選択されている状態になっています。この画面は、ワイヤレス LAN を使用する／しないの設定を行うものであり、現在の設定状態を表示しているわけではありません。現在の設定状態を確認するには HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」→「第 4 章 環境設定を行う」→「8 システムの詳細設定を行う」→「ワイヤレス LAN 設定」をご覧ください。

HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(▶ P.2) をご覧ください。

- 5 ウィンドウの をクリックしてブラウザを終了します。

POINT

快適にお使いいただくために

本製品を長時間連続で使用していると、アプリケーションに割り当たるメモリ領域の分散やページファイルの断片化が発生し、Windows の処理速度が低下することがあります。そのまま使用を続けても問題はありませんが、より快適に本製品をお使いいただくためには、定期的に Windows を再起動することをお勧めします（1週間、または1ヶ月に1回程度）。

5 モバイルアクセスを使うための設定

3

モバイルアクセスセンターに本製品を登録します。登録すると携帯電話やPDA、パソコンから、インターネットを経由して自宅にある本製品にアクセスできるようになります。

POINT

あらかじめ AzbyClub への登録が必要です

モバイルアクセスセンターに本製品を登録するには、あらかじめ、FMVユーザーズクラブ「AzbyClub」への登録が必要です。

AzbyClubへの登録は、ユーザー登録を行うことで、自動的に行われます。

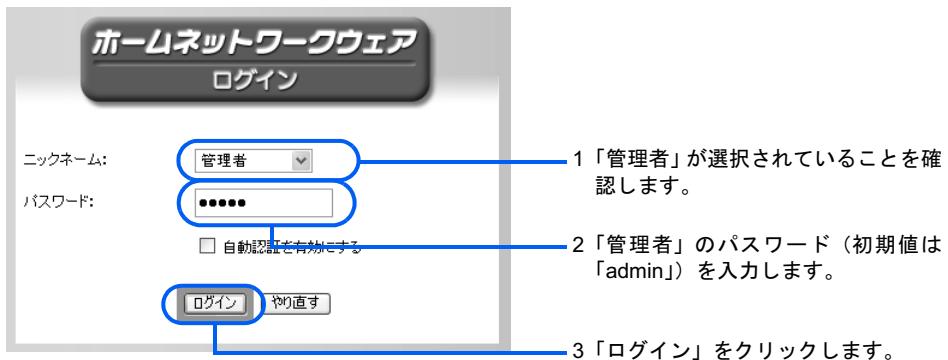
ユーザー登録の方法およびAzbyClubについては、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

モバイルアクセスセンターに登録する

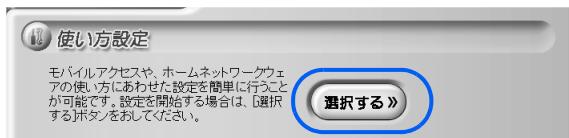
1 デスクトップの (スタートページ・ホームネットワークウェア) をクリックします。

「@メニュー」から「ホームネットワーク」をクリックして表示される画面からも操作できます。

2 「管理者」でログインします。



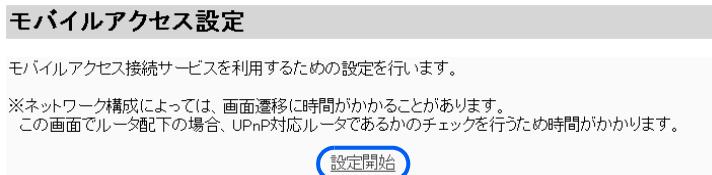
3 「使い方設定」の「選択する」をクリックします。



4 「モバイルアクセス」をクリックします。



5 「設定開始」をクリックします。



POINT

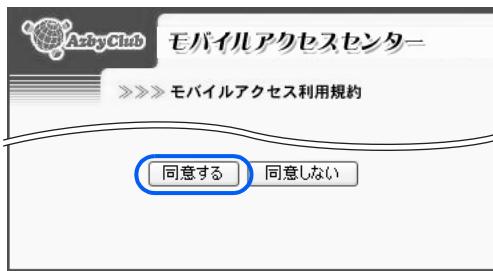
「セキュリティの警告」ウィンドウが表示されたときは

ブラウザの設定によっては、「セキュリティの警告」ウィンドウが表示されることがあります。この場合は「はい」をクリックします。

画面は変更されることがあります

以降のモバイルアクセスセンターの画面は、予告なく変更されることがあります。

6 使用許諾契約の内容を確認し、「同意する」をクリックします。



「同意しない」をクリックした場合は、モバイルアクセスセンターへの登録ができません。

7 モバイルアクセスセンターに登録する情報を入力し、「登録」をクリックします。

1 AzbyClub のユーザー登録番号を入力します。

2 AzbyClub のパスワードを入力します。

3 本製品の識別名を入力します。任意の文字を半角英数字 20 文字（全角の場合は 10 文字）以内で入力してください。

4 本製品にアクセスするためのパスワードを入力します。任意の文字を半角英数字 4 文字以上 16 文字以内で入力してください。

5 「使う」の○をクリックして○にすると、モバイルアクセスをするときにモバイル ID とモバイルパスワードの入力を省略できます。

6 クリックします。

POINT

モバイル ID とモバイルパスワードの扱いについて

モバイル ID とモバイルパスワードは忘れないようにしてください。忘れた場合、P.43 からの手順 1～5 を行うことで登録済みの情報を確認できます。
どこかに控えた場合は、他の人に知られないよう控えを管理してください。

ダイレクトアドレスについて

ダイレクトアドレスについての詳細は、「モバイルアドレスとダイレクトアドレス」(⇒ P.18) をご覧ください。

次の画面が表示されます。



8 「URL を送信」をクリックし、URL を送信したいメールアドレスを入力して、「OK」をクリックします。

この URL で後ほど接続確認を行います。

URL を送信しない場合は、「キャンセル」をクリックし、「パソコン（ダイレクトアドレス）」の下にある URL を、メモするかドラッグしてコピーします。

9 「ログアウト」をクリックします。

モバイルアクセスの操作方法については、「2　外出先から使う」（[…▶ P.81](#)）をご覧ください。

正しく設定できたか確認する

携帯電話などからモバイルアクセスセンターにアクセスして確認します。

「モバイルアクセスセンターに登録する」（[…▶ P.43](#)）の手順8で送信したURLを携帯電話などで受信し、受信したURLを指定して、モバイルアクセスセンターにアクセスします。ホームネットワークウェアのログイン画面が表示されれば、設定は正しく行われています。モバイルアクセスセンターへのアクセス方法は、「2　外出先から使う」（[…▶ P.81](#)）をご覧ください。

6 メールチェックの設定

「お手軽メールチェック」は、外出先からブラウザを使って新着メールを参照できる機能です。

ここでは、本製品にメールアドレスを登録する方法を説明します。

POINT

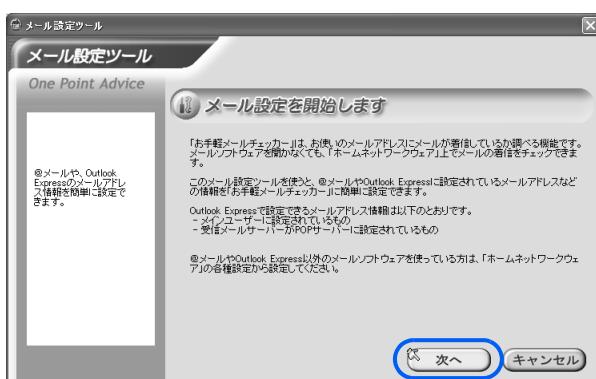
「お手軽メールチェック」の留意事項

- ・「お手軽メールチェック」の機能は、本製品がプロバイダのメールサーバーにアクセスすることで実現しています（プロバイダによっては、メールサーバーにアクセスできないことがあります）。
- そのため、メールサーバーにメールを保存する設定になっている場合は、メールをパソコンへダウンロード後削除する設定に変更しておいてください（通常はダウンロード後削除する設定になっています）。変更しない場合、常に新着メールがあると認識されます。
- ・一度メールソフトで受信したメールは、「お手軽メールチェック」には表示されません。
- ・「お手軽メールチェック」はモバイルアクセス時のみ使用できる機能です。ホームネットワーク内では、トップページにメニューが表示されません。
- ・「お手軽メールチェック」はメール本文の内容を確認できますが、メールの送信や返信、および添付ファイルを開くことはできません。

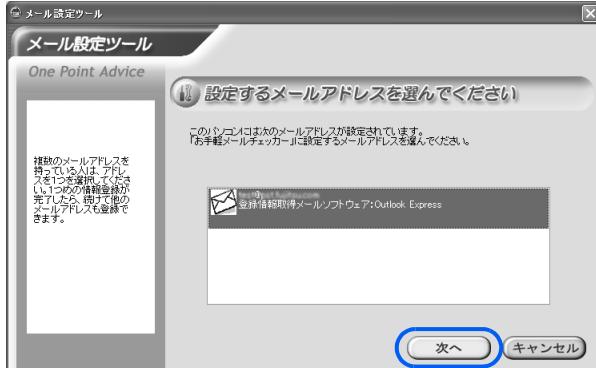
「Outlook Express 5.0」以降または「@メール 2.0」以降をお使いの場合は、パソコンのメール設定を本製品に簡単に反映できます。上記以外のメールソフト（「Outlook 2003」など）をお使いの場合は、メールアドレスなどの情報を個々に入力します。

パソコンのメール設定を反映する (「Outlook Express」または「@メール」をお使いの場合)

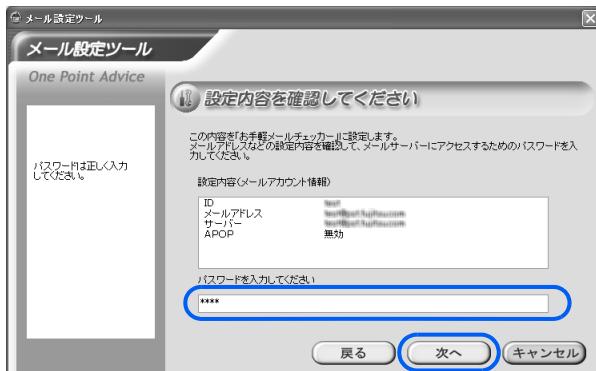
- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」(Windows XPの場合) または「プログラム」(Windows 2000の場合) →「ホームネットワークウェア」→「メール設定ツール」の順にクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。



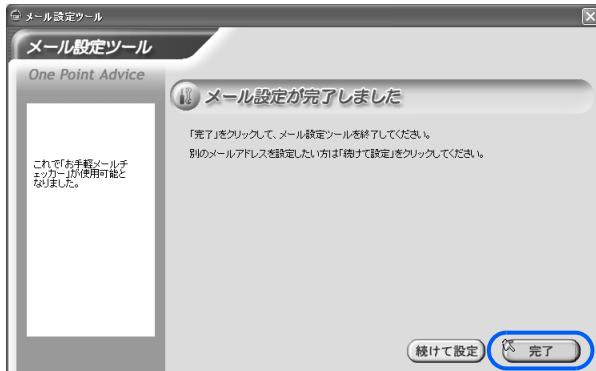
3 設定するメールアドレスをクリックし、「次へ」をクリックします。



4 設定内容を確認し、メールアドレスに設定しているパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



5 「完了」をクリックします。



POINT

メールアドレスを複数持っている場合

メールアドレスを複数持っている場合は「続けて設定」をクリックすると、メールアドレスを選択するウィンドウに戻りますので、手順 3 から繰り返してください。一度設定されたメールアドレスは、メールアドレスを選択するウィンドウに表示されなくなります。

メール設定を入力する (「Outlook Express」または「@ メール」以外をお使いの場合)

重要

メールアドレスの登録時にメールサーバーと接続確認を行うため、事前にインターネット接続できる状態にしてから設定を開始してください。接続できない状態ではエラーになり、登録できません。

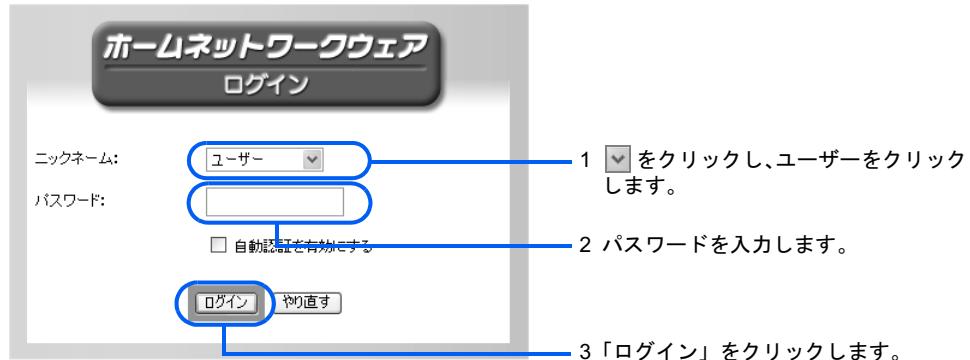
1 デスクトップの(スタートページ - ホームネットワークウェア)をクリックします。

「@メニュー」から「ホームネットワーク」をクリックして表示される画面からも操作できます。

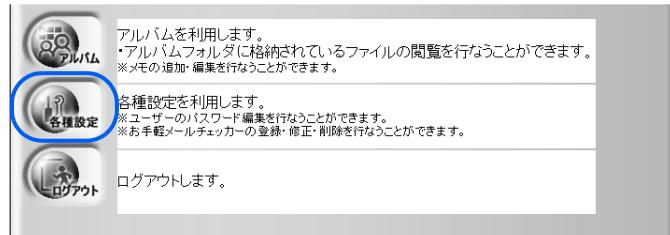
2 「ユーザー」を選択し、パスワードを入力して「ログイン」をクリックします。

ご購入時の状態では、パスワードは設定されていません。「ユーザー」を選択し、「ログイン」をクリックすればログインできます。パスワードを設定したり、設定したパスワードを変更したりするには、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

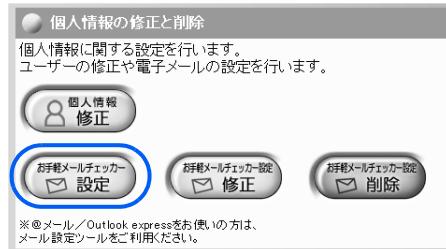
HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(▶ P.2) をご覧ください。



3 「各種設定」をクリックします。



4 「お手軽メールチェッカー設定」をクリックします。



5 必要な情報を入力し、「登録する」をクリックします。

入力する情報については、契約されているプロバイダの資料をご覧ください。

お手軽メール チェッカー 設定
お手軽メールチェッカー設定
ニックネーム: ユーザー
POPサーバー:
ポート番号: 110
APOP使用: 使用する
メールアカウント:
パスワード:
パスワード再入力:
メールアドレス:
今すぐ確認
登録する マイナス

1 メール情報を入力します。
2 お手軽メールチェッカーに
設定するメールアドレスを
登録します。

「設定します。よろしいですか？」と表示されます。

POINT

メールの設定が正しいかどうかを確認するには

設定したメール情報が正しいかどうかを確認する場合は、「今すぐ確認」をクリックします。メール情報が正しい場合は、「対象のメールアカウントは使用可能です。」と表示されます。情報が間違っていたり、メールサーバーに接続できなかったり、プロバイダのメールサーバーに本製品が対応していなかったりした場合は、接続できない旨の説明が表示されます。

6 「OK」をクリックします。

「設定完了」と表示されます。

7 「戻る」をクリックします。

正しく設定できたか確認する

自分のメールアドレス宛てにメールを送信しておきます。携帯電話などからモバイルアクセスセンターにアクセスし、自分宛てに送信したメールのチェックができるか確認します。「モバイルアクセスセンターに登録する」(⇒ P.43) の手順 8 で送信した URL をブラウザのアドレス欄に入力して、モバイルアクセスセンターにアクセスします。HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第 1 章 パソコンから使う」→「1 外出先からメールをチェックする」をご覧になり、自分宛てに送信したメールが表示されるか確認してください。

7 リモートデスクトップを使うための設定

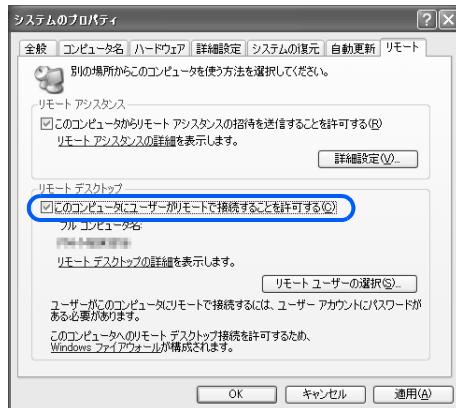
リモートデスクトップ機能を使用すると、外出先のパソコンのディスプレイに自宅のパソコンの操作画面を表示し、自宅のパソコンを遠隔操作できます。

ここでは、自宅のパソコン（サーバー側）である本製品の設定を行います。外出先のパソコン（クライアント側）の設定については、「外出先から本製品を操作する（リモートデスクトップ）」（[P.86](#)）をご覧ください。

リモート接続の設定

次の手順で、Windows XP Professional のリモートデスクトップ機能の設定を行います。

- 1 デスクトップの  (マイコンピュータ) を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」 ウィンドウが表示されます。
- 2 「リモート」タブをクリックし、「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」の をクリックして にします。



- 3 「OK」をクリックします。

重要

上記の設定を行うことで、インターネット側からアクセスを受けやすくなります。パスワードの管理などには十分に注意してください。また、リモートデスクトップ機能を使用する場合のみ、設定するようにしてください。

Windows のログオンパスワードの設定

リモートデスクトップ機能を使用するには、Windows のログオンユーザーにパスワードを設定する必要があります。

■アカウントにパスワードが設定されているか確認する

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」の順にクリックします。

2 アカウント名（ログオンユーザー名）の横に「パスワード保護」と表示されているかどうか確認します。

表示されていない場合は、パスワードが設定されていません。

3

■アカウントにパスワードを設定する

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」の順にクリックします。

2 アカウント名をクリックし、「パスワードを作成する」をクリックします。

3 「新しいパスワードの入力」に半角英数字 8 文字以内のパスワードを入力します。「新しいパスワードの確認入力」に同じパスワードを入力し、「パスワードの作成」をクリックします。

なお、パスワードは大文字と小文字が区別されます。

8 録画予約を行うための設定

リモートデスクトップ機能を使用して外出先から本製品を操作した後では、予約録画が実行されないことがあります。

リモートデスクトップ機能の使用後に予約録画を行いたい場合は、接続を切断する前に、ホームネットワークウェア再起動ツールを実行する必要があります。

POINT

録画予約時の留意事項

Windows のログオンパスワードを設定した場合、モバイルアクセスで外出先から録画予約を行うためには、あらかじめ本製品にログオンしておく必要があります。ログオフした状態や電源を切った状態では録画予約ができませんので、外出前に本製品にログオンし、Windows のデスクトップ画面が表示された状態にしてください。

ホームネットワークウェア再起動ツールのインストール

ここでは、ホームネットワークウェア再起動ツールのインストール方法を説明します。ホームネットワークウェア再起動ツールの使用方法については、「ホームネットワークウェア再起動ツールで再起動の設定を行う」(☞P.89) をご覧ください。

POINT

「PowerUtility - テレビ録画予約機能」と共存できません

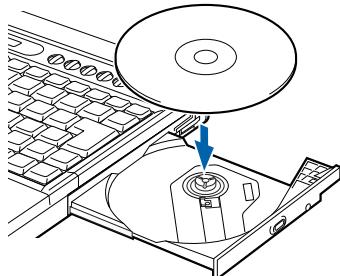
「PowerUtility - テレビ録画予約機能」をインストールしている場合、ホームネットワークウェア再起動ツールが正常に動作しません。インストールしている場合は、ホームネットワークウェア再起動ツールのインストール前に、「PowerUtility - テレビ録画予約機能」をアンインストールしてください。

1 Administrator(管理者)権限を持った Windows ログオン名で、Windows にログオンします。

「Windows ログオン名の設定」(☞P.59) をご覧になり、確認を行ってください。

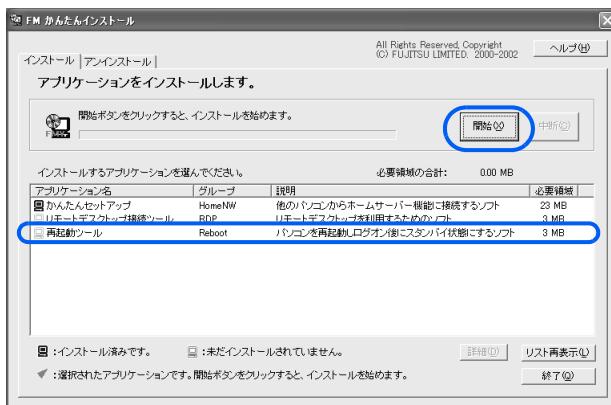
2 ◎「かんたんセットアップ CD」をパソコンにセットします。

しばらくすると「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。



3 「再起動ツール」をクリックし、「開始」をクリックします。

インストール開始の確認画面が表示されます。



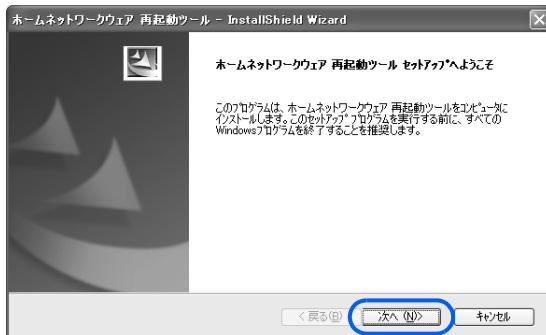
4 「OK」をクリックします。

手動インストールの確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックします。

インストールが開始されます。



7 「完了」をクリックします。

インストールが完了し、デスクトップにアイコン（）が作成されます。

Memo

4

第4章 他のパソコンのセットアップ

本製品に他のパソコンを接続して、セットアップする方法を説明します。

1 セットアップの流れ	58
2 セットアップ前の準備	59
3 セットアップを開始する	70

1 セットアップの流れ

事前に、本製品と他のパソコンをワイヤレス LAN を使って接続するか、LAN ケーブルを使って接続するかを決めておいてください。

準備

[セットアップ前の準備] (☞ P.59)

本製品に接続する他のパソコンの設定を行います。Administrator (管理者) 権限の確認、LAN ドライバのインストール、セキュリティの設定 (Mr.WLANner (※)) が未添付のパソコンでワイヤレス LAN 接続を行う場合)、LAN ケーブルの接続 (LAN ケーブルで接続するとき)、インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定を行います。
※2004年冬モデル以降のFMVシリーズパソコンにインストールされている「Mr.WLANner」を対象とします
(2005年4月現在)。



パソコン側のセットアップ

[セットアップを開始する] (☞ P.70)

①「かんたんセットアップ CD」をパソコンにセットして、セットアップを開始します。必要なソフトウェアがパソコンにインストールされます。



本製品側のセットアップ (必要に応じて)

[メールチェックの設定] (☞ P.47)

登録したユーザーのメールアドレスを本製品に登録します。

重要

ファイアウォール設定されたパソコンとの接続について

セキュリティソフトが動作しているパソコンは、本製品と接続できない場合があります。その場合、セキュリティソフトのセキュリティレベルなどの設定変更を行うことにより、接続できるようになります。詳細は、お使いのセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

2 セットアップ前の準備

セットアップ前に、次の準備を行ってください。

Windows ログオン名の設定

Administrator (管理者) 権限の確認

◎「かんたんセットアップ CD」で本製品のセットアップを行う際は、Administrator 権限を持ったログオン名が必要です。すでに設定されているログオン名が Administrator 権限を持っているかどうか、次の手順で確認してください。

■ Windows XP をお使いの場合

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」の順にクリックします。
- 2 確認するアカウント名をクリックし、「アカウントの種類を変更する」をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理者」が になっていない場合は、 をクリックして にし、「アカウントの種類の変更」をクリックします。

■ Windows 2000 をお使いの場合

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「ユーザーとパスワード」の順にクリックします。
- 2 「ユーザー」タブ画面でユーザー名をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「その他」が になっていない場合は、 をクリックして にし、 をクリックして「Administrators」を選択します。
- 4 「OK」をクリックします。

Windows ログオン名の新規追加方法

Administrator (管理者) 権限を持った Windows ログオン名を新たに設定する方法は、次のとおりです。

■ Windows XP をお使いの場合

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ユーザー アカウント」の順にクリックします。
- 2 「新しいアカウントを作成する」をクリックします。
- 3 半角英数字 10 文字以内のログオン名（ただし、先頭文字に数字は使用できません）を入力し、「次へ」をクリックします。
なお、ログオン名に大文字と小文字の区別はありません。
- 4 「コンピュータの管理者」のをクリックしてにし、「アカウントの作成」をクリックします。
- 5 作成したアカウント名をクリックし、「パスワードを作成する」をクリックします。
- 6 「新しいパスワードの入力」に半角英数字 8 文字以内のパスワードを入力します。「新しいパスワードの確認入力」に同じパスワードを入力し、「パスワードの作成」をクリックします。
なお、パスワードは大文字と小文字が区別されます。

■ Windows 2000 をお使いの場合

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「ユーザーとパスワード」の順にクリックします。
- 2 「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」がになっていない場合は、をクリックしてにします。
- 3 「追加」をクリックします。
- 4 「ユーザー名」に半角英数字 10 文字以内のログオン名（ただし、先頭文字に数字は使用できません）を入力します。「フルネーム」、「説明」を入力し、「次へ」をクリックします。
なお、ログオン名に大文字と小文字の区別はありません。

重要

「ドメイン名」を入力する画面が表示された場合

ネットワーク内にドメインサーバがあるためです。本製品はネットワーク内にドメインサーバがあるときは、サポート対象外です。

- 5 「パスワード」に半角英数字 8 文字以内のパスワードを入力します。「パスワードの確認入力」に同じパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
なお、パスワードは大文字と小文字が区別されます。
- 6 「その他」のをクリックしてにし、をクリックして「Administrators」を選択します。
- 7 「完了」をクリックします。

以上で Windows ログオン名の設定は終わりです。

4

ワイヤレス LAN 接続のときの準備 (Mr.WLANner 未添付のパソコンの場合)

「Mr.WLANner」(ワイヤレス LAN の設定ユーティリティ) がインストールされたパソコンの場合は、◎「かんたんセットアップ CD」を使ったセットアップ中にセキュリティの設定を行うことができます。

「Mr.WLANner」がインストールされていないパソコンの場合は、次の準備を行ってください。

なお、ここでの「Mr.WLANner」は、2004 年冬モデル以降の FMV シリーズパソコンにインストールされているものを対象としています(2005 年 4 月現在)。

LAN ドライバのインストール

ワイヤレス LAN カードをパソコンにセットし、ドライバをインストールします。

パソコンへのワイヤレス LAN カードのセット方法はパソコンに添付されているマニュアルを、ドライバのインストール方法はワイヤレス LAN カードに添付されているマニュアルをご覧ください。

ワイヤレス LAN 機能が標準搭載されているパソコンの場合、この作業は不要です。

セキュリティの設定

本製品で設定した WEP キー(ネットワークキー)をパソコンに設定します。WEP キー(ネットワークキー)を設定すると、ワイヤレス LAN のセキュリティを高めることができます。

■ Windows XP をお使いの場合

重要

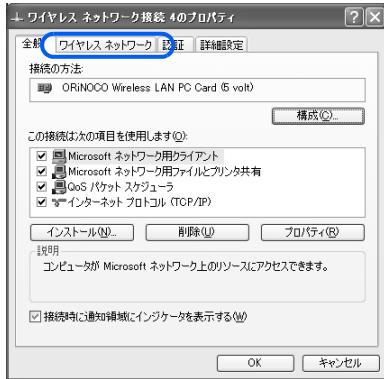
「ワイヤレス LAN カード FMV-JW481」および弊社製 FMV-DESKPOWER、FMV-BIBLO のワイヤレス LAN 搭載モデルをお使いの場合

「ワイヤレス LAN カード FMV-JW481」および弊社製 FMV-DESKPOWER、FMV-BIBLO のワイヤレス LAN 搭載モデルをお使いの場合、ワイヤレス LAN の設定は固有のユーティリティを使用して行います。以降の Windows XP のプロパティを利用しての設定はできませんので、ご注意ください。ユーティリティを利用した設定方法については、「ワイヤレス LAN カード FMV-JW481」に添付されている HTML マニュアル「取扱説明書」、またはパソコン本体の (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. パソコン本体の取り扱い」→「LAN」→「ワイヤレス LAN（無線 LAN）を使う」をご覧ください。

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」の順にクリックします。
- 2 「ネットワーク接続」をクリックします。
- 3 ネットワークアダプタの一覧から、お使いのワイヤレス LAN カードを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



- 4 「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックします。



(画面は機種や状況により異なります)

5 「Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」(SP2以外の場合)、または「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」(SP2の場合) が になっていることを確認します。



6 「追加」をクリックします。

7 情報を入力します。

■ SP1 または SP2 がインストールされていない場合

1 本製品のシリアル番号を入力します。シリアル番号は、「シリアル番号を書き写す（ワイヤレス LAN 接続のとき）」(⇒ P.37) をご覧ください。

2 をクリックし、 にします。

3 になっているときは、 をクリックして にします。

4 になっているときは、 をクリックして にします。

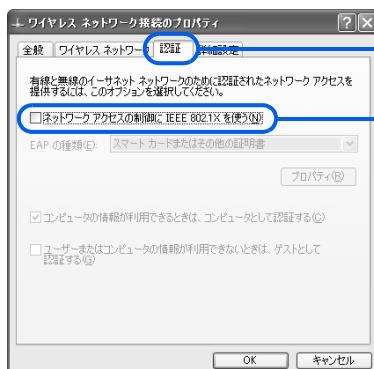
5 「4 アクセスポイント設定」の手順 4 (⇒ P.40) で書き取った WEP キー（ネットワークキー）を入力します。

6 をクリックし、「ASCII 文字」を選択します（通常、自動で入力されます）。

7 をクリックし、「104 ビット(13 文字)」を選択します（通常、自動で入力されます）。

8 になっていることを確認します。

9 クリックします。



10 クリックします。

11 になっているときは、クリックして にします。

POINT

キーのインデックスについて

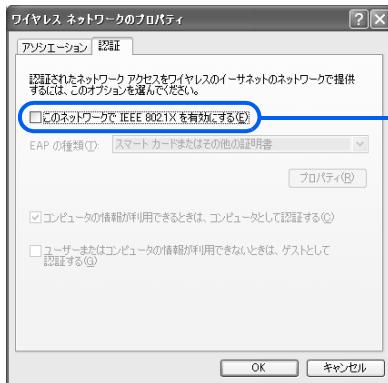
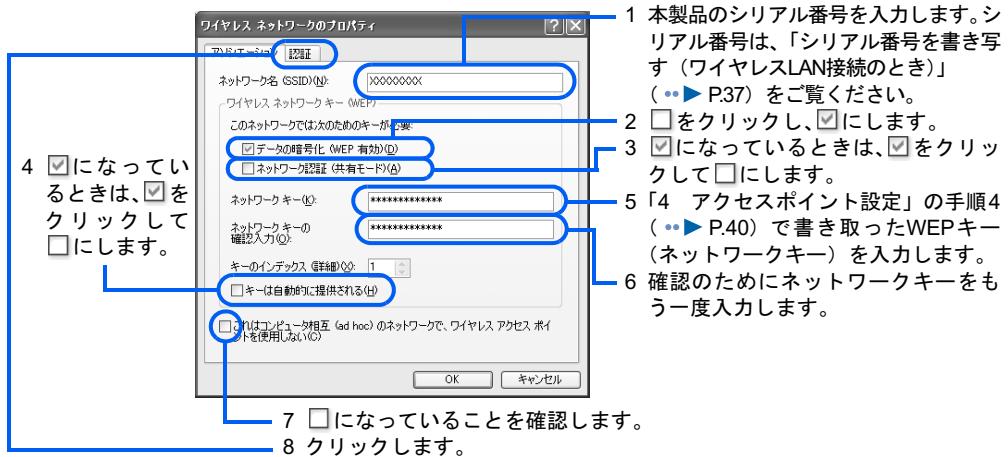
「キーのインデックス」は初期値の「0」から変更しないでください。

SSID（ネットワーク名）について

ご購入時の状態では、本製品の SSID（ネットワーク名）はシリアル番号になっています。

ご購入時の状態から SSID（ネットワーク名）を変更した場合は、変更後の SSID（ネットワーク名）を入力してください。

■ SP1 がインストールされている場合



POINT

キーのインデックスについて

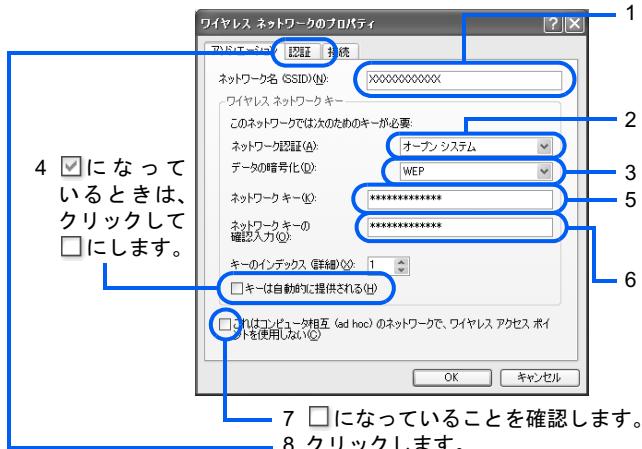
「キーのインデックス」は初期値の「1」から変更しないでください。

SSID（ネットワーク名）について

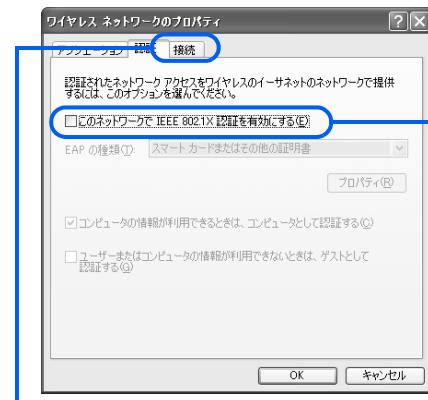
ご購入時の状態では、本製品の SSID（ネットワーク名）はシリアル番号になっています。

ご購入時の状態から SSID（ネットワーク名）を変更した場合は、変更後の SSID（ネットワーク名）を入力してください。

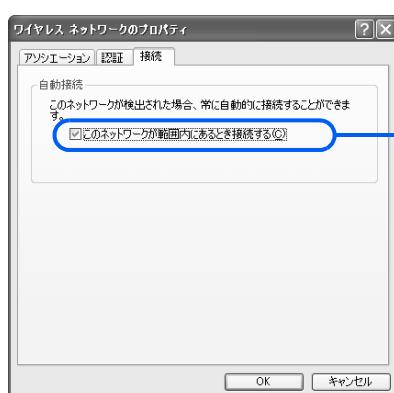
■ SP2 がインストールされている場合



- 1 本製品のシリアル番号を入力します。シリアル番号は、「シリアル番号を書き写す(ワイヤレスLAN接続のとき)」(☞ P.37)をご覧ください。
- 2 をクリックして「オーブンシステム」にします。
- 3 をクリックして「WEP」にします。
- 4 「4 アクセスポイント設定」の手順4 (☞ P.40)で書き取った WEP キー(ネットワークキー)を入力します。
- 5 確認のために WEP キー(ネットワークキー)をもう一度入力します。



- 10 クリックします。



POINT

キーインデックスについて

「キーのインデックス」は初期値の「1」から変更しないでください。

SSID (ネットワーク名)について

ご購入時の状態では、本製品の SSID (ネットワーク名) はシリアル番号になっています。ご購入時の状態から SSID (ネットワーク名) を変更した場合は、変更後の SSID (ネットワーク名) を入力してください。

8 「OK」をクリックします。

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

9 「OK」をクリックします。

これで、WEP キー（ネットワークキー）の設定は終了です。

10 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックし、「コンピュータの電源を切る」ウィンドウの「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動します。

11 「コントロールパネル」ウィンドウで「電源オプション」をクリックします。

12 次の項目を設定し、「OK」をクリックします。

- ・「電源設定」タブをクリックし、「システムスタンバイ」を「なし」にします。
- ・「休止状態」タブをクリックし、「休止状態を有効にする」が□になっていることを確認します。
□になっていない場合は、☑をクリックして□にします。

自動的にスタンバイや休止状態に移行しないように設定されました。

■ Windows 2000 をお使いの場合

Windows 2000をお使いの場合は、ワイヤレス LAN カードに添付されているマニュアルをご覧になり、次の内容を設定してください。

項目	設定値
SSID（ネットワーク名）※1	本製品のシリアル番号（  P.37）
WEP キー（ネットワークキー）※2	「4 アクセスポイント設定」の手順 4（  P.40）で書き取ったもの
接続形式	「インフラストラクチャ通信」など※3

※1：「SSID（ネットワーク名）」は、ワイヤレス LAN カードによっては「ESSID」と記載されている場合があります。

※2：「WEP キー（ネットワークキー）」は、ワイヤレス LAN カードによっては「暗号キー」、「暗号化機能」と記載されている場合があります。

※3：「インフラストラクチャ通信」は、ワイヤレス LAN カードによっては「Access Point」と記載されている場合があります。

POINT

SSID（ネットワーク名）について

ご購入時の状態では、本製品の SSID（ネットワーク名）はシリアル番号になっています。ご購入時の状態から SSID（ネットワーク名）を変更した場合は、変更後の SSID（ネットワーク名）を入力してください。

設定が終了したら

上記の設定が終了したら、パソコンを再起動してください。

LAN ケーブル接続のときの準備

LAN ドライバのインストール

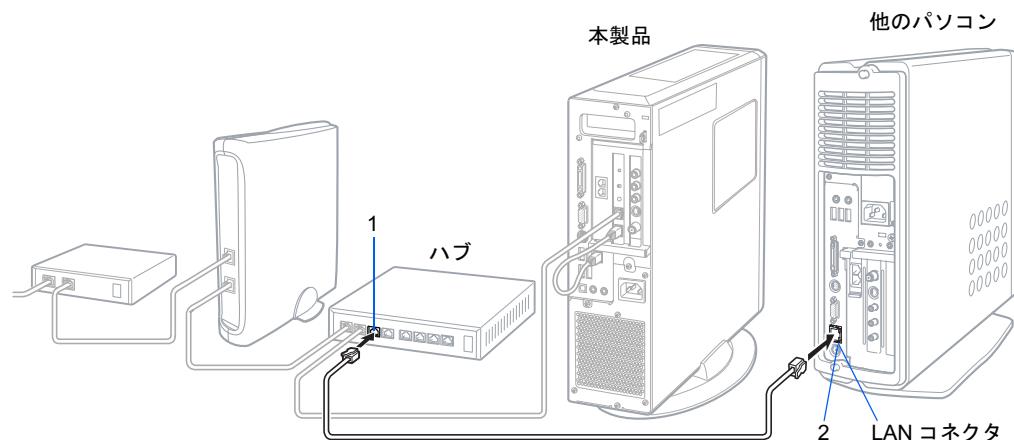
LAN カードをパソコンにセットし、ドライバをインストールします。

パソコンへの LAN カードのセット方法はパソコンに添付されているマニュアルを、ドライバのインストール方法は LAN カードに添付されているマニュアルをご覧ください。

LAN 機能が標準搭載されているパソコンの場合、この作業は不要です。

LAN ケーブルの接続

ハブとパソコンを LAN ケーブルで接続します。



- 1** LANケーブル（ストレートタイプ）を、ハブの**LANコネクタ**に「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- 2** LANケーブルの反対側を、接続するパソコンの**LANコネクタ**に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

さらに別のパソコンを接続する場合も、同じ手順で、ハブとパソコンの LAN コネクタを接続します。

インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定

ホームサーバー機能部と Windows 部にそれぞれ搭載されている LAN 機能の IP アドレスは、ご購入時の設定では自動設定になっています。他のパソコンについても同様に、インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定を「IP アドレスを自動的に取得する」設定にしてください。通常、パソコンのご購入時には「IP アドレスを自動的に取得する」設定になっていますが、変更している場合は、次の手順で設定を行ってください。

Windows XP をお使いの場合

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」の順にクリックします。
- 2 「ネットワーク接続」をクリックします。
- 3  (ローカルエリア接続) または  (ワイヤレスネットワーク接続) を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
- 4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 5 「IP アドレスを自動的に取得する」の をクリックし、 にします。
- 6 「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」の をクリックし、 にします。
- 7 「OK」をクリックします。
- 8 「プロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

Windows 2000 をお使いの場合

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順にクリックします。
- 2  (ローカルエリア接続) または  (ワイヤレスネットワーク接続) を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
- 3 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。

- 4** 「IP アドレスを自動的に取得する」のをクリックし、にします。
- 5** 「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」のをクリックし、にします。
- 6** 「OK」をクリックします。
- 7** 「プロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

3 セットアップを開始する

◎「かんたんセットアップ CD」を使って、セットアップを開始します。

POINT

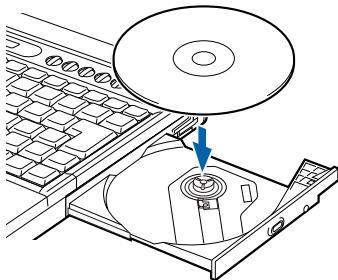
セキュリティの警告

SP2 がインストールされた Windows XP で◎「かんたんセットアップ CD」から「かんたんセットアップ」を実行すると、「Windows セキュリティの重要な警告」ウィンドウが表示されることがあります。この場合は、「ブロックを解除する」をクリックしてください。

1 Administrator(管理者)権限を持った Windows ログオン名で、Windows にログオンします。

◎「かんたんセットアップ CD」を使用して本製品にユーザー登録するユーザーは、管理者権限を持っている必要があります。「Windows ログオン名の設定」(▶ P.59) をご覧になり、確認を行ってください。

2 ◎「かんたんセットアップ CD」をパソコンにセットします。



■ Windows XP をお使いの場合

しばらくすると「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。手順 3 (▶ P.71) に進んでください。

■ Windows 2000 をお使いの場合

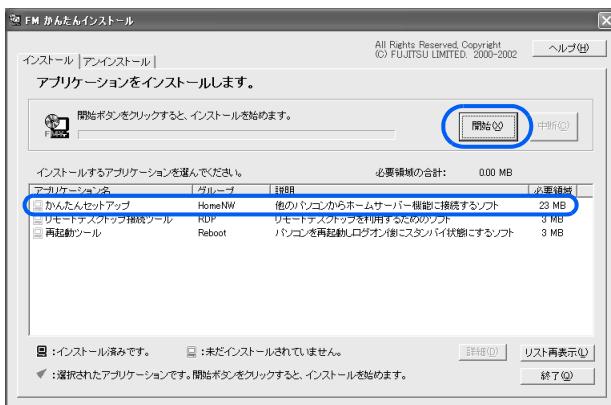
しばらくすると「かんたんセットアップ」ウィンドウが表示されます。手順 6 (▶ P.71) に進んでください。

POINT

ウィンドウが自動的に表示されなかったときは

- ・ Windows XP をお使いの場合
CD-ROM 内の「EzInst.exe」をクリックしてください。
- ・ Windows 2000 をお使いの場合
CD-ROM 内の「HNWSetup」フォルダ内にある「EzSetup.exe」をクリックしてください。

- 3 「かんたんセットアップ」をクリックし、「開始」をクリックします。**
インストール開始の確認画面が表示されます。

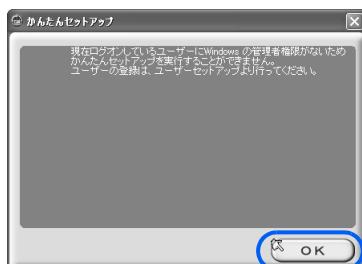


- 4 「OK」をクリックします。**
手動インストールの確認画面が表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。**
- 6 「ネットワーク設定」の「開始」をクリックします。**



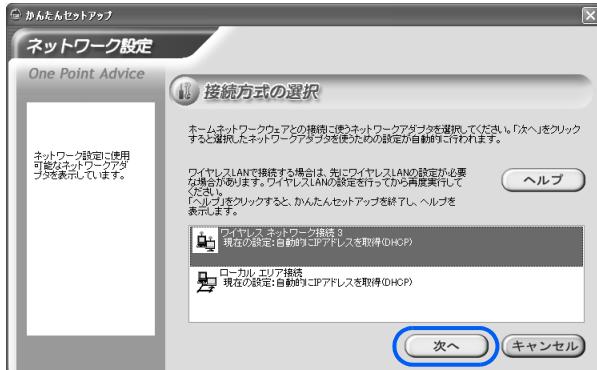
POINT

次の画面が表示されたときは



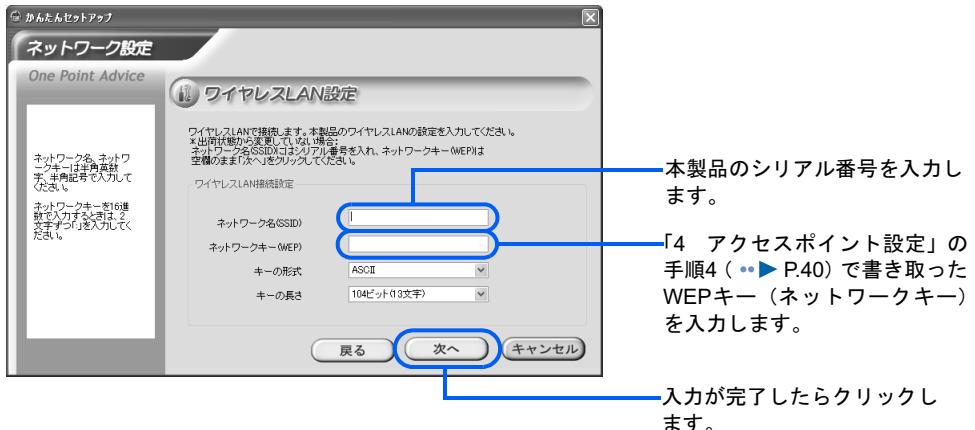
「OK」をクリックした後、「終了」をクリックし、セットアップを中止します。その後、「Windows ログオン名の設定」(☞ P.59)をご覧になり、Windows ログオン名を設定してから、再度セットアップを開始してください。

7 接続に使用するネットワークアダプタを選択し、「次へ」をクリックします。



8 「Mr.LANner」がインストールされているパソコンで、かつ上記手順でワイヤレス LAN のネットワークアダプタを選択した場合、次の画面が表示されますので、SSID (ネットワーク名) と WEP キー (ネットワークキー) を設定し、「次へ」をクリックします。

ここで入力する SSID (ネットワーク名) は、本製品のシリアル番号です。シリアル番号は、「シリアル番号を書き写す (ワイヤレス LAN 接続のとき)」(☞ P.37) をご覧ください。なお、ここでの「Mr.WLANner」は、2004 年冬モデル以降の FMV シリーズパソコンにインストールされているものを対象としています (2005 年 4 月現在)。



POINT

かんたんセットアップを開始する前に、本製品とワイヤレス LAN で接続している場合は、上記画面が表示されません。

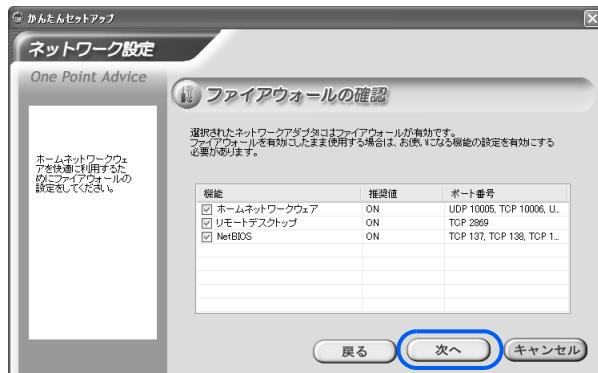
重要

ホームサーバー機能のセットアップ後、ホームネットワークウェアの「ワイヤレス LAN 設定」でキーの長さを 128bit に設定したり、使用するキーを「キー 1」以外に設定した場合には、かんたんセットアップ中に本製品への接続ができなくなります。「ワイヤレス LAN 接続のときの準備 (Mr.WLANner 未添付のパソコンの場合)」(☞ P.61) をご覧になり、ワイヤレス LAN の設定を変更して本製品に接続してから、かんたんセットアップを再開してください。

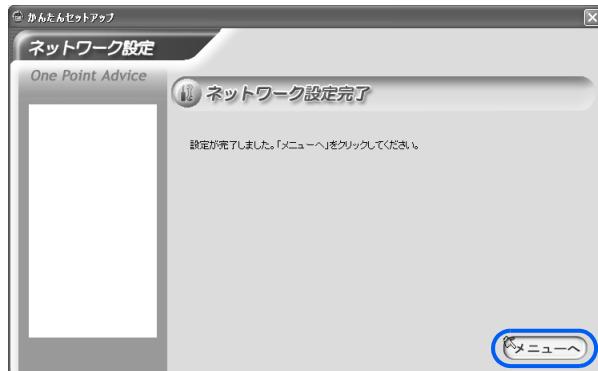
ワイヤレス LAN 設定については、HTML マニュアルの「使い方ガイド」の「第 4 章 環境設定を行う」→「8 システムの詳細設定を行う」→「ワイヤレス LAN 設定」をご覧ください。

9 SP2 をお使いの場合、次の画面が表示されますので、ファイアウォールの設定を確認し、「次へ」をクリックします。

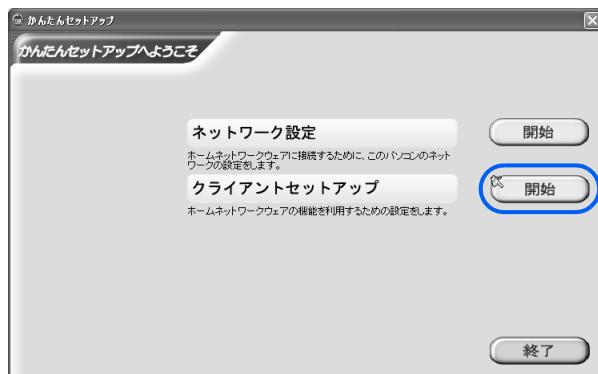
通常は、設定を変更する必要はありません。



10 「メニューへ」をクリックします。

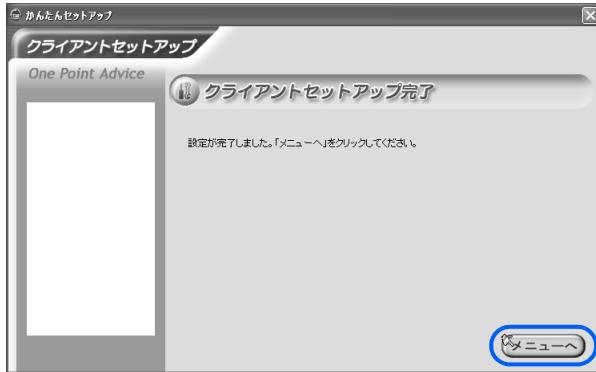


11 「クライアントセットアップ」の「開始」をクリックします。



クライアントソフトウェアがインストールされます。

12 「メニューへ」をクリックします。



13 「終了」をクリックします。

「かんたんセットアップ」を終了する旨の確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックします。

これで、セットアップは終了です。メールチェックの設定を行いたい場合は、「6 メールチェックの設定」(☞ P.47)をご覧ください。

5

第5章 ホームサーバー機能を使う

「ホームネットワークウェア」のトップページの開き方や、フォルダ操作について説明します。

より詳しい使い方は、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能使い方ガイド」をご覧ください。

HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(⇒ P.2) をご覧ください。

1 家庭内のパソコンから使う	76
2 外出先から使う	81
3 ワイヤレス LAN のセキュリティを強化する	91

家庭内のパソコンからホームサーバー機能を使う方法を説明します。

ホームネットワーク内でトップページを開く

「ホームネットワークウェア」のトップページの開き方は次のとおりです。

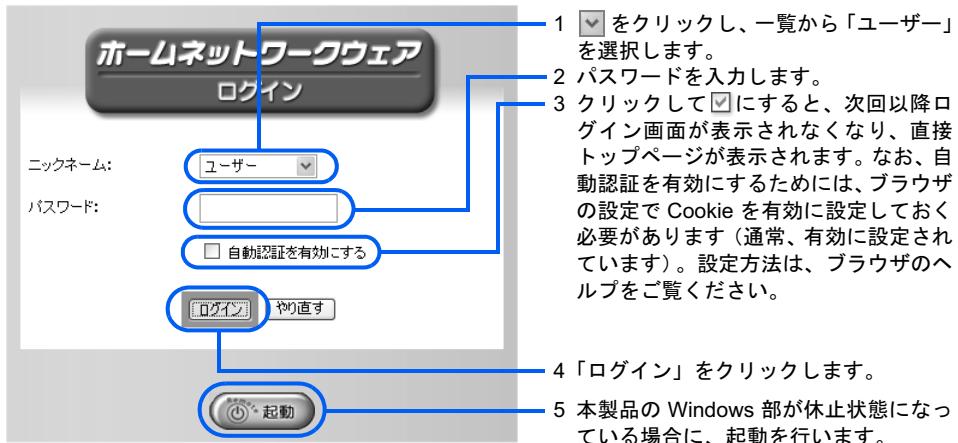
1 デスクトップの(スタートページ - ホームネットワークウェア)をクリックします。

2004年冬モデル以降のFMVシリーズパソコンの場合、「@メニュー」から「ホームネットワーク」をクリックして表示される画面からも操作できます。

2 「ユーザー」を選択し、パスワードを入力して「ログイン」をクリックします。

ご購入時の状態では、パスワードは設定されていません。「ユーザー」を選択し、「ログイン」をクリックすればログインできます。パスワードを設定したり、設定したパスワードを変更したりするには、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(☞P.2)をご覧ください。



POINT

パスワードを忘れたときは

ログインするときのパスワードを忘れてしまったら、管理者でログインし、設定を変更する必要があります。

詳しくは、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

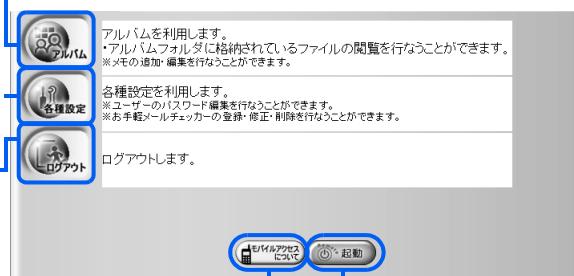
HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(☞P.2)をご覧ください。

トップページが表示されます。

家族皆が見ることのできる
アルバムです。

メールアドレスやパスワードなどの個人情報を変更できます。

トップページからログアウトします。



モバイルアクセスするための「モバイルアドレス」と
「ダイレクトアドレス」の一覧が表示されます。

本製品のWindows部が休止状態になっている場合に、起動を行います。

POINT

ページのデザインは、変更できます。設定方法は、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「9 アプリケーションの設定を変更する」→「スキン設定」をご覧ください。HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(⇒ P.2)をご覧ください。

フォルダを開く

5

本製品の共有フォルダに保存したファイルは、ホームネットワーク内のどのパソコンからでもアクセスできます。

フォルダを開く

1 デスクトップの(共有フォルダ - ホームネットワークウェア)をクリックします。

2004年冬モデル以降のFMVシリーズパソコンの場合、「@メニュー」から「ホームネットワーク」をクリックして表示される画面からも操作できます。

本製品に設定されている共有フォルダが表示されます。



重要

共有フォルダの同時アクセスについて

共有フォルダへ同時にアクセスできる台数は、10台までです。

フォルダの構成

ホームサーバー機能に関する共有フォルダは、次の2つです。

Home Album

Home Album フォルダには、ファイルやフォルダを右クリックして表示されるメニューから、データを簡単にコピーできます。

Home Album フォルダに保存されたファイルは、「ホームネットワークウェア」の「アルバム」に表示され、家族全員で見ることができます。フォルダを作成して分類することもできます。

アルバムの使用方法は、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第1章 パソコンから使う」→「4 アルバムを見る」をご覧ください。

HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(⇒ P.2)をご覧ください。

Home Data

Home Data フォルダには、ファイルやフォルダを右クリックして表示されるメニューから、データを簡単にコピーできます。

家族で使いたいファイル（例えば「自宅の地図」ファイルや「旅行のガイド」ファイルなど）を保存します。



データの保全について

Home Album、Home Data フォルダ内の各データについては、万が一のアクシデントに備えて、定期的に別のパソコンにコピーして保管しておくことをお勧めします。

なお、データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。



使用できるファイル名の長さ

各フォルダに保存するファイルのファイル名は、半角126文字（全角63文字）まで使用することができます。

「パス '##FNPC' は存在しないかディレクトリではありません」と表示される場合

本製品がスタンバイ状態または休止状態のときに、他のパソコンでデスクトップの(共有フォルダ - ホームネットワークウェア)をクリックすると、「パス '##FNPC' は存在しないかディレクトリではありません」と表示される場合があります。その場合は、次の操作を行ってください。

1. デスクトップの(スタートページ - ホームネットワークウェア)をクリックします。
2. ログイン画面の下部にある(起動)をクリックします。
3. しばらく待ってから（10～30秒程度）、再度(共有フォルダ - ホームネットワークウェア)をクリックします。

STATUS ランプの状態を確認する

本体背面のSTATUSランプの状態やホームサーバー機能の詳細状態を表示するユーティリティ「ホームサーバー状態表示」が、ご購入時にインストールされています。ここでは、「ホームサーバー状態表示」の使用方法を説明します。

POINT

「ホームサーバー状態表示」の留意事項

「ホームサーバー状態表示」は、一定の間隔でSTATUSランプの状態を監視するツールです。そのため、STATUSランプの表示の変更タイミングとは完全に一致しないことがあります。

STATUS ランプの状態を確認する

「ホームサーバー状態表示」は、画面右下の通知領域にアイコンが表示されます。



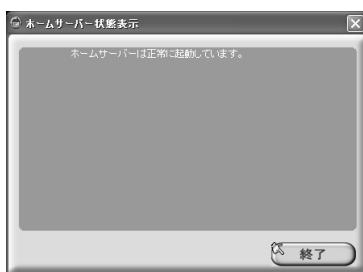
このアイコンにより、本製品背面のSTATUSランプの状態を画面上で確認できます。アイコンの色と意味は、次のとおりです。

アイコンの色	ホームサーバー機能の状態	対処方法
黒	通信できない	<ul style="list-style-type: none">しばらくお待ちください。しばらく待ってもアイコンの色が変わらない場合は、Windows を再起動してください。ルータの DHCP サーバー機能が有効になっているか確認してください。詳しくは、ルータのマニュアルをご覧ください。ルータと本製品が正しく接続されているか確認してください。
オレンジ	ホームサーバー機能が起動していない	しばらくお待ちください。しばらく待ってもアイコンの色が変わらない場合は、ホームサーバーカードの POWER ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れてください。
オレンジに×印	起動エラー	ホームサーバーカードのPOWERボタンを押して電源を切り、再度電源を入れてください。
緑	正常動作中	—
緑に×印	ホームサーバー機能の使用を開始していない	アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「ホームサーバーの使用を開始する」をクリックしてください。

ホームサーバー機能の詳細状態を表示する

ホームサーバー機能のさらに詳しい状態を確認するには、次の操作を行います。

- 1 画面右下の通知領域にある (ホームサーバー状態表示) を右クリックし、表示されるメニューから「状態を表示」をクリックします。**
「サーバー状態を取得しています」と表示された後、「ホームサーバー状態表示」ウィンドウが表示されます。
- 2 状態を確認します。確認が終わったら、「終了」をクリックしてウィンドウを閉じます。**



テレビを見るには

本製品でテレビを見たり、本製品にテレビ番組を録画するには、TVチューナーアプリケーションが必要です。TVチューナーアプリケーションは、次の3つのアプリケーションの総称です。なお、TVチューナーアプリケーションは、本製品にプレインストールされています。

- ・ **TVfunSTUDIO**

本製品の画面でテレビ映像を見たり、ビデオのように本製品のハードディスクに番組を録画したりするアプリケーションです。

- ・ **G-GUIDE**

「TVfunSTUDIO」と連携して、インターネットから最新のテレビ番組情報をダウンロードできる電子番組表です。

- ・ **MediaStage**

本製品のハードディスクに保存された録画データを、再生するためのアプリケーションです。

各アプリケーションの紹介やマニュアルの参照方法などは、(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」の「添付ソフトウェア一覧」をご覧ください。

また、テレビを見る際の留意事項については、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能使い方ガイド」の「第1章 パソコンから使う」→「6 テレビを見る」をご覧ください。HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(▶P.2)をご覧ください。

重要

データの保全について

本製品内の録画データについては、万が一のアクシデントに備えて、定期的にバックアップしておくことをお勧めします（なお、録画予約データはバックアップできません）。

バックアップは、「MediaStage」を使用して、パソコン内、またはCD-R／DVD-Rなどにコピーすることで行ってください。

なお、データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

2 外出先から使う

外出先からパソコン、携帯電話、PDA を使って本製品にアクセスします。アクセスするには、モバイルアドレス、またはダイレクトアドレスが必要です。詳細は、「3 モバイルアクセスサービスについて」(☞ P.17) をご覧ください。

モバイルアドレス、ダイレクトアドレスを準備する

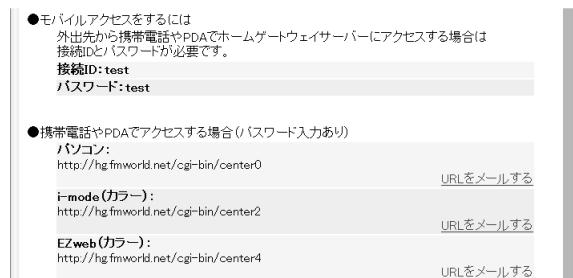
モバイルアドレスとダイレクトアドレスは長いため、家庭内パソコンから外出先に持ち出す機器にメールで URL を送信すると、入力の手間を省くことができます。

POINT

モバイルアドレスとダイレクトアドレスの発行について

モバイルアドレスとダイレクトアドレスは、モバイルアクセスセンターに本製品を登録することで発行されます。「5 モバイルアクセスを使うための設定」(☞ P.43) をご覧ください。

- 1 ホームネットワーク内のパソコンで、トップページを開きます。
- 2 一番下の  (モバイルアクセスについて) をクリックします。
- 3 ご使用になるパソコン、携帯電話、PDA に対応したアドレスの横にある「URLをメールする」をクリックします。



メールソフトが起動し、URL がコピーされた新規メール画面が表示されます。

- 4 メールの宛先に、パソコン、携帯電話、PDA で使用しているメールアドレスを指定して送信します。
- 5 パソコン、携帯電話、PDA でメールを受信します。
- 6 メールで受信したモバイルアドレスまたはダイレクトアドレスを指定して、インターネットに接続します。

POINT

お気に入りやブックマークに登録しておく

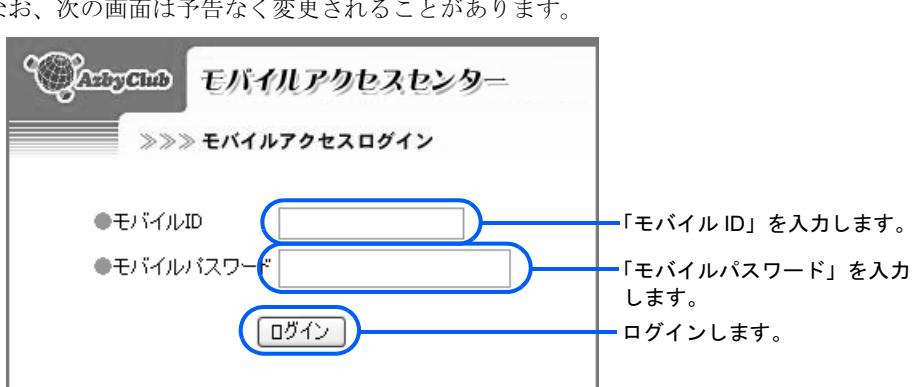
パソコン、携帯電話、PDA にモバイルアドレス、またはダイレクトアドレスを登録しておくと、次にアクセスするときに便利です。登録方法については、各機器のマニュアルをご覧ください。

外出先でトップページを開く

パソコンの場合

通信可能なノートパソコンなどでアクセスします。

- 1 ブラウザを起動します。
- 2 ブラウザの「アドレス」欄に、メールで受信したモバイルアドレスまたはダイレクトアドレスを入力し、【Enter】キーを押します。
モバイルアドレスを入力した場合は、手順 3 へ進んでください。
ダイレクトアドレスを入力した場合は、手順 4 へ進んでください。
- 3 モバイルアドレスを入力した場合は、「モバイルID」と「モバイルパスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。
なお、次の画面は予告なく変更されることがあります。



4 パスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

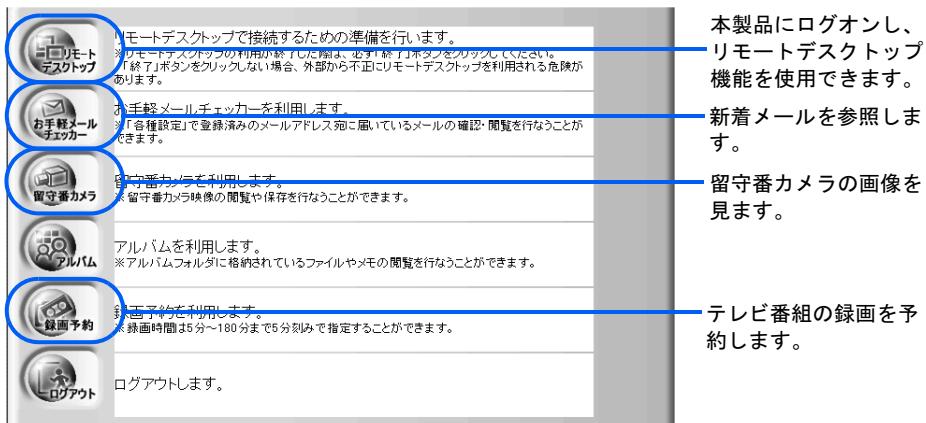
ご購入時の状態では、パスワードは設定されていません。「ログイン」をクリックすればログインできます。パスワードを設定したり、設定したパスワードを変更したりするには、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(⇒ P.2) をご覧ください。



トップページが表示されます。

モバイルアクセス時のトップページは、ホームネットワーク内からのアクセス時と異なり、「リモートデスクトップ」「お手軽メールチャッカー」「留守番カメラ」「録画予約」が追加されています。また、ホームネットワーク内では表示される「各種設定」が表示されません。



携帯電話の場合

インターネットに接続できる機能を持った携帯電話でアクセスします。

POINT

お使いの携帯電話に対応したアドレスを設定しないと、画像が表示されない場合があります。その場合、「モバイルアドレス、ダイレクトアドレスを準備する」(⇒ P.81) をご覧になり、URL を再度確認してください。

1 メールで受信したモバイルアドレスまたはダイレクトアドレスを指定して、インターネットに接続します。

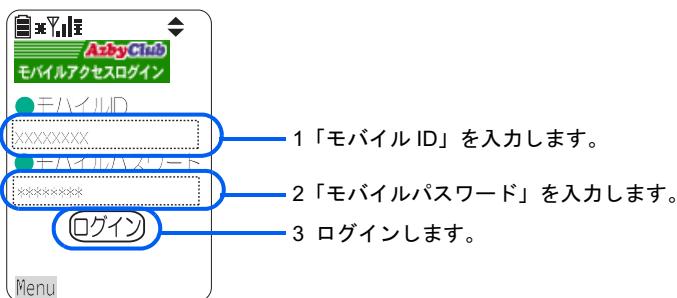
アドレスの指定方法については、お使いの携帯電話のマニュアルをご覧ください。

モバイルアドレスを入力した場合は、手順 2 へ進んでください。

ダイレクトアドレスを入力した場合は、手順 3 へ進んでください。

2 「モバイル ID」、「モバイルパスワード」を入力し「ログイン」を選択します。

なお、次の画面は予告なく変更されることがあります。



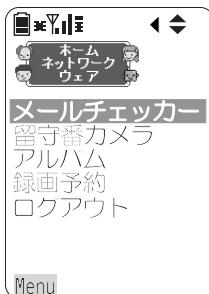
3 パスワードを入力して、「ログイン」を選択します。

ご購入時の状態では、パスワードは設定されていません。「ログイン」を選択すればログインできます。パスワードを設定したり、設定したパスワードを変更したりするには、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(▶ P.2)をご覧ください。



トップページが表示されます。



PDA の場合

通信可能なPDAでアクセスします。

1 「Pocket Internet Explorer」を起動します。

起動方法は、お使いのPDAのマニュアルをご覧ください。

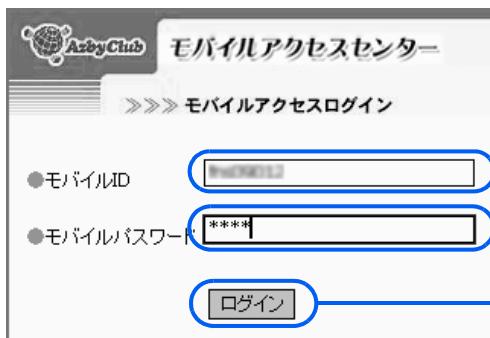
2 メールで受信したモバイルアドレスまたはダイレクトアドレスを指定して接続操作を行います。

モバイルアドレスを入力した場合は、手順3へ進んでください。

ダイレクトアドレスを入力した場合は、手順4へ進んでください。

3 「モバイルID」と「モバイルパスワード」を入力して、「ログイン」をタップします。

なお、次の画面は予告なく変更されることがあります。



1 「モバイルID」を入力します。

2 「モバイルパスワード」を入力します。

3 「ログイン」をタップします。

4 パスワードを入力して、「ログイン」をタップします。

ご購入時の状態では、パスワードは設定されていません。「ログイン」をタップすればログインできます。パスワードを設定したり、設定したパスワードを変更したりするには、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

HTMLマニュアルの参照方法は、「HTMLマニュアルの開き方」(◆ P.2)をご覧ください。



1 「パスワード」を入力します。

2 「ログイン」をタップします。

トップページが表示されます。



[メールチェック](#)

[留守番カメラ](#)

[アルバム](#)

[録画予約](#)

[ログアウト](#)

外出先から本製品を操作する（リモートデスクトップ）

リモートデスクトップ機能を使用するためには、「7 リモートデスクトップを使うための設定」（**…▶ P.52**）をご覧になり、事前に本製品（サーバー側）の設定を行っておいてください。ここでは、外出先で使用するパソコン（クライアント側）の設定を行います。なお、本製品でリモートデスクトップ機能を使用できるのは、Windows XP です。

外出先から本製品にログオンするためには、次の 2 つの方法があります。

- ・ ◎「かんたんセットアップ CD」から「リモートデスクトップ接続ツール」を外出先のパソコンにインストールし、接続を行う。
- ・ モバイルアクセスを利用して本製品にアクセスしてから、「ホームネットワークウェア」から接続を行う。

リモートデスクトップ接続ツールのインストール

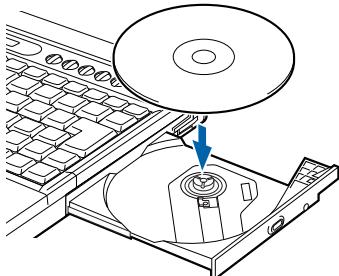
◎「かんたんセットアップ CD」に格納されている「リモートデスクトップ接続ツール」を外出先のパソコン（OS は Windows XP）にインストールすると、モバイル ID とモバイルパスワードの入力だけで簡単に本製品にログオンできます。

1 Administrator(管理者)権限を持った Windows ログオン名で、Windows にログオンします。

「Windows ログオン名の設定」（**…▶ P.59**）をご覧になり、確認を行ってください。

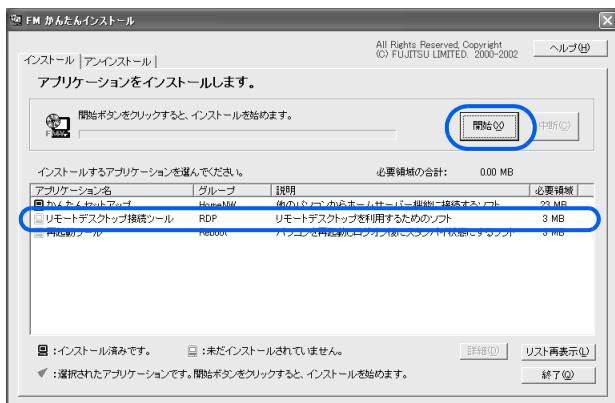
2 ◎「かんたんセットアップ CD」をパソコンにセットします。

しばらくすると「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。



3 「リモートデスクトップ接続ツール」をクリックし、「開始」をクリックします。

インストール開始の確認画面が表示されます。



4 「OK」をクリックします。

手動インストールの確認画面が表示されます。

5 「OK」をクリックします。

6 「次へ」をクリックします。

インストールが開始されます。



7 「完了」をクリックします。

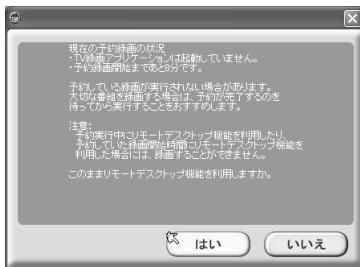
外出先から本製品に接続する

接続には、モバイルアドレスが必要です。モバイルアドレスの詳細は、「3 モバイルアクセスサービスについて」(⇒ P.17)をご覧ください。

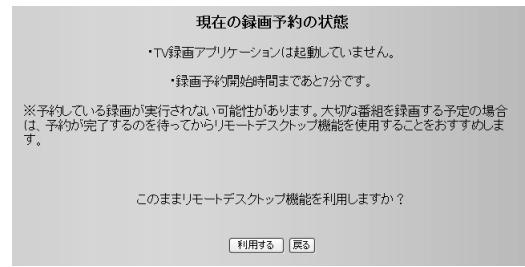
POINT

録画予約時や録画中に表示されるメッセージ

リモートデスクトップ機能で本製品に接続する際に、次のメッセージが表示されることがあります。



リモートデスクトップ接続ツールで接続時



モバイルアクセス経由で接続時

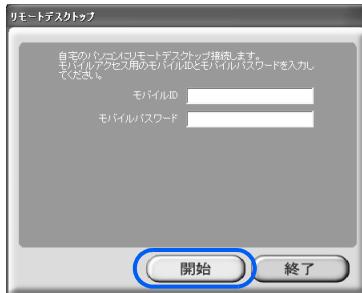
このメッセージは、現在時刻から一定時間内（ご購入時の設定は 15 分以内）に録画が開始される予約があるとき、または実際に録画中（TVfunSTUDIO が起動中）のときに表示されます。

リモートデスクトップ機能使用中には録画機能は使用できなくなるため、録画を中止してリモートデスクトップ接続を行う場合は「はい」または「利用する」を、リモートデスクトップ接続を中止する場合は「いいえ」または「戻る」をクリックしてください。

なお、現在時刻からの録画予約の有無を確認する時間は、「詳細設定」画面で変更できます。設定方法は、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第 4 章 環境設定を行う」→「9 アプリケーションの設定を変更する」→「録画予約設定」をご覧ください。

■リモートデスクトップ接続ツールで接続する

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「ホームネットワークウェア」→「リモートデスクトップ」の順にクリックします。**
- 2 「モバイル ID」、「モバイルパスワード」を入力して、「開始」をクリックします。**



認証画面が表示され、Windows XP の画面が表示されたら接続は完了です。

■モバイルアクセス経由で接続する

- 1 「パソコンの場合」(⇒ P.82)をご覧になり、モバイルアクセスで「ホームネットワークウェア」のトップページを開きます。
- 2  (リモートデスクトップ) をクリックします。
以降は、画面の指示に従って接続してください。

■接続を切断する

POINT

録画予約を行っている場合

録画予約を行っている場合は、「ホームネットワークウェア再起動ツールで再起動の設定を行う」(⇒ P.89)をご覧になり、切断前にホームネットワークウェア再起動ツールを実行してください。

- 1 「スタート」ボタン→「切断」の順にクリックします。
「切断しますか?」と表示されます。
- 2 「切断」をクリックします。

5

重要

ログオフでは切断されません

「スタート」ボタン→「ログオフ」の順にクリックしてログオフしても接続は切断されません。ログオフした場合、再度ログオンしながら、上記手順で接続を切斷してください。

readme.txt を参照してください

リモートデスクトップ接続に関する一般的な注意事項については、リモートデスクトップ接続ツールのセットアップに同梱の readme.txt (◎「かんたんセットアップ CD」中の「¥RDPSetup¥readme.txt」) を参照してください。

■ホームネットワークウェア再起動ツールで再起動の設定を行う

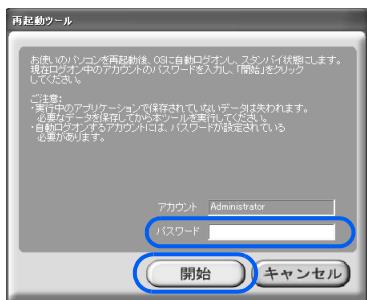
リモートデスクトップ機能を使用して外出先から本製品を操作した後では、予約録画が実行されないことがあります。接続を切断する前にホームネットワークウェア再起動ツールを実行し、本製品が自動的に再起動、再ログオンする設定にしてください。
なお、ホームネットワークウェア再起動ツールのインストール方法については、「ホームネットワークウェア再起動ツールのインストール」(⇒ P.54)をご覧ください。

重要

ホームネットワークウェア再起動ツールで再起動、再ログオン中に録画開始時刻になってしまふと、録画に失敗します。録画開始時刻が近づいたら、再起動、再ログオンにかかる時間を考慮し、早めにホームネットワークウェア再起動ツールを実行してください。

- 1 リモートデスクトップ画面で、デスクトップ上のアイコン () をクリックします。

2 Windowsにログオンするためのパスワードを入力し、「開始」をクリックします。



2回目以降の実行時には、前回入力したパスワードが入力されています。変更する必要がない場合は、「開始」をクリックしてください。

3 「はい」をクリックします。



再起動処理が始まり、しばらくすると「リモートデスクトップが強制切断されました」と表示されます。

4 「OK」をクリックします。

5 リモートデスクトップを終了します。

リモートデスクトップ接続を切断後、自動的に再起動、再ログオンが行われ、スタンバイ状態になります。予約設定した時間がくると、スタンバイから復帰し録画が開始されます。

3 ワイヤレス LAN のセキュリティを強化する

本製品が備えている、ワイヤレス LAN のセキュリティを強化するための機能について、説明します。

本製品のセキュリティ機能

本製品は、次の 3 つのセキュリティ機能を備えています。

- データ暗号化（WEP キー（ネットワークキー）の設定）

データを暗号化してやり取りすることで、通信内容を傍受されても内容を読み取られないようにします。「4 アクセスポイント設定」（ $\text{…} \blacktriangleright \text{P.39}$ ）で控えた WEP キー（ネットワークキー）が、暗号を解読する鍵の役割を果たします。本製品では、最大 4 つの WEP キー（ネットワークキー）を設定でき、それらを切り替えて使用できます。

- ネットワーク名が不明なステーションからの接続

Windows XP やワイヤレス LAN カードに付属の設定ツールでは、現在使用可能なワイヤレス LAN のアクセスポイントの一覧が表示されます。「ネットワーク名が不明なステーションからの接続」設定を「拒否」に設定すると、一覧に本製品が表示されなくなり、不正アクセスされにくくなります。

- MAC アドレスフィルタリング

MAC アドレス（Media Access Control Address）は、ワイヤレス LAN カードなどのネットワークアダプタに固有の番号です。本製品に MAC アドレスを登録しておくと、MAC アドレスによりパソコンを特定し、接続を許可したり拒否したりできます。

本製品のご購入時の設定と、「4 アクセスポイント設定」（ $\text{…} \blacktriangleright \text{P.39}$ ）を行った後の設定は、次の表のとおりです。これらの設定をさらに変更する場合は、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第 4 章 環境設定を行う」→「8 システムの詳細設定を行う」→「ワイヤレス LAN 設定」をご覧ください。HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」（ $\text{…} \blacktriangleright \text{P.2}$ ）をご覧ください。

	ご購入時	「アクセスポイント設定」を行った後
データ暗号化設定	使用しない	使用する 104 ビット、ASCII
ネットワーク名が不明な ステーションからの接続設定	許可	許可
MAC アドレスフィルタ設定	無効	無効

Memo

6

第6章 こんなときには

ホームサーバー機能の設定をご購入時の状態に戻す初期化の方法と、本製品使用時の疑問点やトラブルの対処方法を説明します。

1 設定を初期化する	94
2 ホームサーバー機能を終了する	98
3 よくあるトラブルと解決のチェックポイント	99
4 Q&A	102

1 設定を初期化する

設定ミスやパスワードの忘却などにより、他のパソコンから本製品にログインできなくなってしまった場合などは、設定を初期化できます。

「管理者」パスワードの初期化

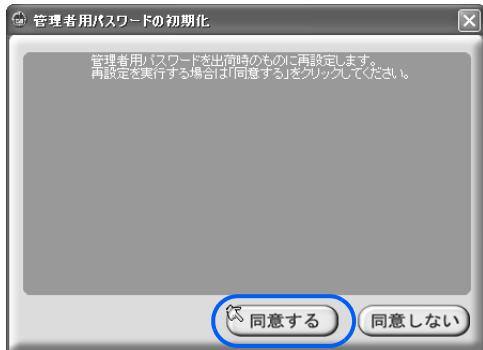
「管理者」のパスワードを忘れてしまい、管理者としてログインできなくなってしまった場合に、「管理者」のパスワードをご購入時の設定（「admin」）に戻します。

- 1 本製品に◎「かんたんセットアップ CD」をセットします。
しばらくすると「FM かんたんインストール」ウィンドウが表示されます。

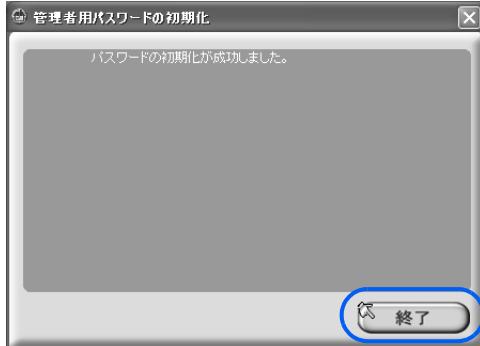
POINT

「FM かんたんインストール」ウィンドウが自動的に表示されなかったときは、手順 3 に進んでください。

- 2 「終了」をクリックし、ウィンドウを閉じます。
- 3 エクスプローラから「E:\HNWSetup\Tools」フォルダ内にある「ClearPwd.exe」をクリックします。
- 4 「同意する」をクリックします。



5 「終了」をクリックします。



設定の初期化

本製品の環境をご購入時の状態に戻す「初期化」の方法と、設定のバックアップと復元方法について説明します。

初期化される情報

ホームサーバーカードには次の情報が保存されますが、初期化を行うことでご購入時の状態に戻ります。

- ・ ワイヤレス LAN 設定…ワイヤレス LAN のアクセスポイント機能の設定値（SSID（ネットワーク名）、WEP キー（ネットワークキー）、セキュリティ設定など）
- ・ メール設定…お手軽メールチェッカーに登録した情報
- ・ 各種機能設定…管理者でログインして設定した情報

初期化により、上記の情報は消去されます。初期化後に同じ内容を復元したい場合は、次の方法であらかじめ設定情報をバックアップしてください。

設定情報のバックアップ

ホームサーバーカードに保存されている設定情報をバックアップするには、「FM かんたんバックアップ」を使用します。「FM かんたんバックアップ」の操作方法については、『FMV 活用ガイド』→「バックアップで大切なデータを守る」→「まとめて簡単にバックアップする」をご覧ください。

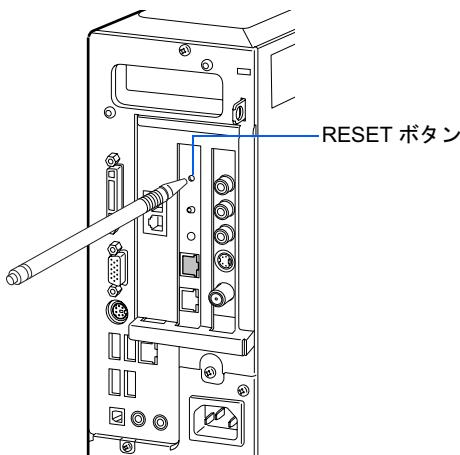
6

「FM かんたんバックアップ」 ウィンドウの「保存」タブで「ホームネットワークウェア」のをクリックしてにし、「データの保存開始」をクリックすることで、設定情報がバックアップされます。



初期化の方法

1 ホームサーバーカード背面にある RESET ボタンをボールペンの先などで押します。



初期化中は、STATUS ランプがオレンジ色に点灯し、ホームサーバー状態表示のアイコンは黒色になります。

初期化が完了すると、STATUS ランプは緑色に点滅し、ホームサーバー状態表示のアイコンは緑色に×印がついた状態になります。

POINT

STATUS ランプが緑色に点滅しているが、ホームサーバー状態表示のアイコンが黒色の場合

STATUS ランプが緑色に点滅しているのに、画面右下の通知領域にある「ホームサーバー状態表示」のアイコンが「黒」の場合は、次の点を確認してください。

- ・ルータと本製品は正しく接続されているか
- ・ルータの DHCP サーバ機能が有効になっているか

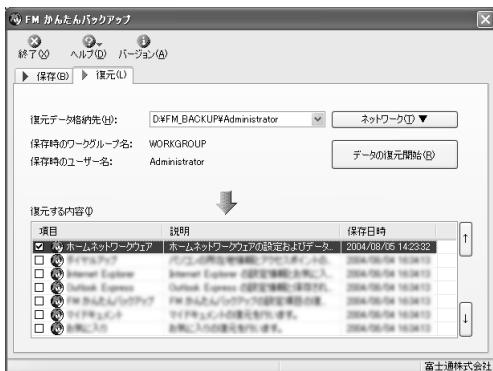
2 画面右下の通知領域にある、 (ホームサーバー状態表示) を右クリックし、「ホームサーバーの使用を開始する」をクリックします。

使用可能になると、STATUS ランプが緑色に点灯し、ホームサーバー状態表示のアイコンが「緑に×印」の状態から「緑」になります。

あらかじめ設定情報をバックアップしていた場合は、次の方法で初期化された内容を復元してください。設定情報をバックアップしていなかった場合は、再度設定を行ってください。

設定情報の復元

初期化後、「FM かんたんバックアップ」を使用し、設定情報を復元します。「FM かんたんバックアップ」の操作方法については、『FMV 活用ガイド』→「バックアップで大切なデータを守る」→「まとめて簡単にバックアップする」をご覧ください。
「FM かんたんバックアップ」ウィンドウの「復元」タブで「ホームネットワークウェア」の□をクリックして☑にし、「データの復元開始」をクリックすることで、設定情報が復元されます。



ハードディスク内のデータのバックアップ

録画データ、および Home Album、Home Data フォルダ内の各データは、万が一のアクシデントに備えて、定期的にバックアップを行うことをお勧めします。

- ・ ホームネットワークウェア共有フォルダ内のデータ
データのバックアップは、エクスプローラなどを使用して、パソコン内、または CD-R / DVD-R などにコピーすることで行ってください。
- ・ 録画データ
録画データのバックアップは、「MediaStage」を使用して、パソコン内、または CD-R / DVD-R などにコピーすることで行ってください（なお、録画予約データはバックアップできません）。

重要

定期的にバックアップしてください

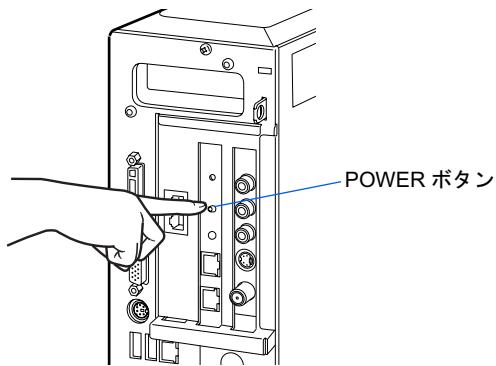
各データは、万が一のアクシデントに備えて、定期的にバックアップしてください。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

2 ホームサーバー機能を終了する

本製品を長期間使用しないときは、ホームサーバーカードの電源を切り、ホームサーバー機能を終了します。

1 ホームサーバーカードの POWER ボタンを押します。

しばらくすると、STATUS ランプが消灯します。



※重要

データの書き込み中は電源を切らないでください

共有フォルダなどへのデータ書き込み中に電源を切ると、データが消失する可能性があります。自分だけでなく、他の人が使用していないことを確認してから、電源を切ってください。

電源が自動的に切れる場合があります

高温下の環境に放置するなどして本製品が異常に高温になると、STATUS ランプが点滅し、2～3 分後に電源が自動的に切れます。この場合は、□『パソコンの準備』の「使い始める前に」→「使用上のお願い」をご覧になり、設置場所を見直してください。

なお、高温のため電源が切れたことは、「アプリケーションログ」で確認できます。「アプリケーションログ」の参照方法は、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第 4 章 環境設定を行う」→「6 ホームサーバー機能の情報を確認する」をご覧ください。

HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(▶ P.2) をご覧ください。

3 よくあるトラブルと解決のチェックポイント

ここでは、代表的なトラブルと解決のチェックポイントをまとめています。

各機器の電源を入れる順番がわからない

通信機器や本製品の電源は、モデム→ルーター→ホームサーバーカード→パソコン本体の順番で入れます。詳しくは、「3 電源を入れる」(⇒ P.38) をご覧ください。

ホームネットワークウェアのセットアップができない

次の点を確認してください。

・本製品とパソコンは正しく接続されていますか？

ワイヤレス LAN で接続している場合は、「ワイヤレス LAN で接続できない」(⇒ P.99) をご覧ください。

LAN ケーブルで接続している場合は、次を確認してください。

- LAN ドライバが正しくインストールされ、LAN は正しく動作しているか

- ケーブルは正しく接続されているか

- 本製品とハブを接続するケーブルは、クロスかストレートか、またはハブにクロスとストレートを切り替える設定があるかどうか

・セキュリティソフトが起動していませんか？

セキュリティソフトの設定によっては、本製品と通信できないことがあります。設定を見直すか、セキュリティソフトを終了させてください。セキュリティソフトの設定については、お使いのセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

・ホームサーバーカードの LAN コネクタ 1 とルータが接続されていますか？

接続されていない場合、本製品に IP アドレスが割り当てられないため、セットアップができません。

6

ワイヤレス LAN で接続できない

・SSID（ネットワーク名）は本製品と合っていますか？

本製品に設定した SSID（ネットワーク名）と同じ名前をパソコンにも設定してください。ご購入時の設定では、SSID（ネットワーク名）はシリアル番号と同じ文字が設定されています。

・WEP キー（ネットワークキー）は本製品と合っていますか？

本製品に設定した WEP キー（ネットワークキー）と同じキーをパソコンにも設定してください。

・WEP キー（ネットワークキー）のインデックスは本製品と合っていますか？

本製品は、4 つの WEP キー（ネットワークキー）を設定でき、それぞれにインデックス番号をつけて管理しています。使用する WEP キー（ネットワークキー）と対応しているインデックスを、パソコン側で指定する必要があります。

- ・接続形式はインフラストラクチャ通信（ワイヤレス LAN のアクセスポイントと接続するための設定）になっていますか？
アドホック通信（パソコン同士で接続するための設定）では、本製品とは接続できません。
- ・MAC アドレスフィルタリングが正しく設定されていますか？
MAC アドレスフィルタリングの設定を見直してください。
- ・本製品とパソコンの間に障害物などはありませんか？
本製品の設置場所と、パソコンの使用場所を見直し、電波が届く場所でお使いください。
- ・使用しているワイヤレス LAN カードは、IEEE 802.11g または IEEE 802.11b 対応ですか？
本製品では、IEEE 802.11a 対応のワイヤレス LAN カードとは接続できません。
- ・セキュリティソフトが起動していませんか？
セキュリティソフトの設定によっては、本製品と通信できないことがあります。設定を見直すか、セキュリティソフトを終了させてください。セキュリティソフトの設定については、お使いのセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

録画予約ができない

- ・「TVfunSTUDIO」がインストールされ、テレビが視聴できる状態になっていますか？
「TVfunSTUDIO」がパソコンにインストールされ、チャンネル設定が行われているか確認してください。チャンネル設定については、「TVfunSTUDIO」のマニュアルをご覧ください。
- ・モバイルアクセスはできますか？
モバイルアクセスができないと、外出先からの録画予約はできません。
- ・Windows をシャットダウンしていませんか？
Windows を使用しない場合でも、「電源を切る」ではなく「休止状態」を選択して、休止状態にしておいてください。電源の切り方については、□『パソコンの準備』をご覧ください。
- ・Windows のログオンパスワードや複数ユーザーの設定を行っていませんか？
リモートデスクトップ機能を利用するためには Windows ログオンパスワードを設定したり、複数ユーザーの設定を行ったりしている場合は、事前に本製品にログオンし Windows のデスクトップ画面が表示された状態にしておく必要があります。
- ・予約録画が実行される時間帯にリモートデスクトップ機能を使用しませんでしたか？
リモートデスクトップ機能使用中には録画機能が使用できなくなります。リモートデスクトップ機能で本製品に接続する際、現在時刻から一定時間内（ご購入時の設定は 15 分以内）に録画が開始される予約があるとき、または実際に録画中（TVfunSTUDIO が起動中）のときには、確認画面が表示されます。予約をキャンセルしても問題ない場合のみ、リモートデスクトップ機能を使用してください。
- ・リモートデスクトップ機能を使用して接続を切断する前に、ホームネットワークウェア再起動ツールを実行しましたか？
リモートデスクトップ接続を切断する前に、「ホームネットワークウェア再起動ツールで再起動の設定を行う」（◆► P.89）をご覧になり、ホームネットワークウェア再起動ツールを実行してください。

留守番カメラが使えない

- ・モバイルアクセスはできていますか？

モバイルアクセスができないと、留守番カメラは使用できません。

- ・「@ キャプチャ」はインストールされていますか？

- ・「@ キャプチャ」を使用していませんか？

お出かけ前などに、「@ キャプチャ」を終了させてください。起動したままだと、留守番カメラ用に動作しません。

- ・Windows をシャットダウンしていませんか？

Windowsを使用しない場合でも、「電源を切る」ではなく「休止状態」を選択して、休止状態にしておいてください。電源の切り方については、『パソコンの準備』をご覧ください。

4 Q&A

本製品に関する疑問点や問題について、Q&A 形式でまとめています。

なお、参照先が HTML マニュアルの場合、「HTML マニュアルの開き方」(⇒ P.2) をご覧になり、該当する項目を参照してください。

また、本製品に関する最新の Q&A については、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) をご覧ください。

接続について

設定は正しいはずなのに本製品に接続できません。

■セキュリティソフトが動作していませんか？

セキュリティソフトが動作しているパソコンは、本製品と接続できない場合があります。その場合、セキュリティソフトのセキュリティレベルなどの設定変更を行うことにより、接続できるようになります。詳細は、お使いのセキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

■ルータを交換したり、設定を変更したりしませんでしたか？

ルータを交換したり、ルータの設定を変更したりした場合は、ネットワーク全体の機器の電源をいったん切り、再度電源を入れてください。

1 パソコン本体の電源を切ります。

2 ホームサーバーカードの POWER ボタンを押して、ホームサーバーカードの電源を切ります。

電源が切断されない場合は、POWER ボタンを長押し（4 秒以上）します。

3 ルータ、モデムの電源を切ります。

4 モデム→ルーター→ホームサーバーカード→パソコン本体の順番で電源を再度入れます。

電源の入れ方については、「3 電源を入れる」(⇒ P.38) をご覧ください。

ワイヤレス LAN について

ワイヤレス LAN 接続をしていて、自宅のネットワークに他人が侵入しないか、またデータが盗聴されないか心配です。

■データの盗聴を防ぐために、次の対策を行うことをお勧めします。

設定方法は、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第 4 章 環境設定を行う」→「8 システムの詳細設定を行う」→「ワイヤレス LAN 設定」をご覧ください。

- ・「詳細設定」の「システム設定」→「ワイヤレス LAN 設定」で、WEP キー（ネットワークキー）を設定します。設定するキーの長さはお使いのワイヤレス LAN カードに合わせてください。長い WEP キー（ネットワークキー）の方が効果的です。また、WEP キー（ネットワークキー）を定期的に変更すると、より効果的です。
- ・「詳細設定」の「システム設定」→「ワイヤレス LAN 設定」で、「ネットワーク名が不明なステーションからの接続」を「拒否」に設定します。
- ・「詳細設定」の「システム設定」→「ワイヤレス LAN 設定」→「MAC アドレスフィルタ設定」で、MAC アドレスフィルタを有効にし、「一覧にない MAC アドレスからの接続」を拒否する設定にしてください。
なお、データを盗聴されたことによる損害については、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ホームネットワークウェアのアルバムに関して

メモを書くと、アルバムフォルダにテキストファイルが作成されるのですが。

■画像に付けたメモが、「画像ファイル名（拡張子含む）.txt」のファイルとしてアルバムフォルダに格納されます。

アルバムを開いたときに、ファイルが表示されないことがあるのですが。

■「Home Album」フォルダにデータを格納しているにもかかわらずファイルが表示されない場合、本製品の Windows XP が終了した状態、または休止状態になっていたことが考えられます。

本製品にアクセスがあった時点で自動的に、Windows XP が起動、または休止状態から復帰しますので、完全に起動または復帰するまで 1 分程お待ちいただき、再度「ホームネットワークウェア」のトップページから「アルバム」を開いてください。

モバイルアクセスに関して

留守番カメラ、録画予約などの機能が使えません。

■Windows をシャットダウンしていませんか？

Windows を使用しない場合でも、「電源を切る」ではなく「休止状態」を選択して、休止状態にしておいてください。電源の切り方については、『パソコンの準備』をご覧ください。

モバイルアクセスのためのアドレスを忘れてしまったのですが、確認する方法はありますか？

■「ユーザー」でログインして、トップページの下の（モバイルアクセスについて）をクリックします。モバイルアクセスのためのモバイルアドレス、ダイレクトアドレスの一覧が表示されます。

携帯電話を落としてしまいました。ダイレクトアドレスが登録してあったので、アクセスされないか心配です。

■モバイルアクセスを中止するか、設定変更の操作を行います。中止すると、すぐにモバイルアクセスはできなくなります。再度利用するには、再登録が必要です。また、設定変更では、「モバイルID」、「モバイルパスワード」を変更できます。ダイレクトアドレスではアクセスできなくなります。

設定方法は、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」「4 モバイルアクセスの設定をする」をご覧ください。

家庭内のパソコンからモバイルアクセスはできますか？

■同じホームネットワークに接続している本製品に対しては、家庭内からのモバイルアクセスは行えません。

リモートデスクトップに関して

リモートデスクトップで接続できません。

■次の点を確認してください。

- ・本製品側でリモートデスクトップの設定が行われているか確認してください。設定方法は、「7 リモートデスクトップを使うための設定」（ P.52）をご覧ください。
- ・外出先からアクセスするパソコンのOSはWindows XPですか？
- ・会社などファイアウォールが設定された環境内に本製品が設置されていませんか。この場合、ネットワーク管理者に確認し、TCPの「3389」番ポートを開いてもらってください。

リモートデスクトップで動画再生中にコマ落ちするのですが。

■リモートデスクトップでは、動画再生などはハードウェアではなくソフトウェアで画面描画が行われるため、再生できなかったり、再生できても使用に耐えなったりします。

あらかじめご了承ください。

ホームネットワークウェア再起動ツールが正常に動作しません。

- 「PowerUtility - テレビ録画予約機能」をインストールしていると、ホームネットワークウェア再起動ツールが正常に動作しません。

ホームネットワークウェア再起動ツールを使用する場合は、「PowerUtility - テレビ録画予約機能」をアンインストールしてください。

お手軽メールチェッカーに関して

お手軽メールチェッカーでは、メールの確認のほかに、返信することもできますか？

- お手軽メールチェッカーでは、メールの着信と本文の確認はできますが、添付ファイルを開いたり、返信したりすることはできません。お使いのメールソフトをご利用ください。

セキュリティに関して

パスワードを忘ってしまったのですが。

- 「管理者」でログオンし、「詳細設定」の「個人情報修正」でパスワードを変更できます。

設定方法は、HTML マニュアルの「ホームサーバー機能 使い方ガイド」の「第 4 章 環境設定を行う」→「7 個人情報を修正する」をご覧ください。

管理者用のパスワードをご購入時の設定（「admin」）から変更して忘ってしまった場合は、「「管理者」パスワードの初期化」（ $\cdots\blacktriangleright$ P.94）をご覧ください。

動画再生に関して

動画再生中に、コマ落ちするのですが。

- 使用環境によりネットワーク通信速度が変化するため、ビットレートの大きい動画などの再生中にコマ落ち（連続する画像の一部が表示されないこと）が発生することがあります。

あらかじめご了承ください。

他のパソコンで、再生中の音や映像が途切れるのですが。

■ネットワーク通信速度の変化以外に、本製品で次の操作を行っているときは、他のパソコンで音や映像が途切れることができます。

- ・省電力状態にする
- ・電源を切る
- ・再起動する

表示されるエラーに関して

「ホームネットワークウェア」を使用すると、エラー画面が表示されるのですが。

■本製品の Windows XP が終了した状態、または休止状態になっていたことが考えられます。

本製品にアクセスがあった時点で自動的に、Windows XPが起動、または休止状態から復帰しますので、完全に起動または復帰するまで1分程お待ちいただき、再度「ホームネットワークウェア」の操作を行ってください。

ホームサーバー機能のシステムが起動していない状態のままパソコンを起動してしまいました。Windows を終了しようとすると、「このプログラムからの応答がありません。」と表示されます。

■「終了」をクリックし、Windows の終了処理を続行します。

◎「かんたんセットアップ CD」でセットアップを行ったパソコンを、ホームサーバー機能のシステムが起動していない状態で起動し、5 分以内に Windows を終了、または再起動すると、上記メッセージが表示されます。「終了」をクリックして Windows の終了処理を続行してください。その後、本製品の STATUS ランプが緑色に点灯しているのを確認してから、パソコンを起動してください。

システムに関して

ホームサーバー機能を停止するには

■何らかの理由でホームサーバー機能が不要になった場合などには、ホームサーバーカードの電源を切ります。

ホームサーバーカードの電源の切り方は、「2 ホームサーバー機能を終了する」(⇒ P.98)をご覧ください。その後、ホームサーバーカードとパソコン本体の LAN コネクタを接続している LAN ケーブルを取り外し、ルータとパソコン本体の LAN コネクタを接続します。

STATUS ランプに関して

STATUS ランプがオレンジ色に点滅しているのですが。

■高温下の環境に放置するなどして、本製品が異常に高温になっています。

点滅を開始してから 2 ~ 3 分後に自動的に電源が切れます。この場合は、『パソコンの準備』の「使い始める前に」 → 「使用上のお願い」をご覧になり、設置場所を見直してください。

■ルータから IP アドレスが配布されていません。

ルータの電源が入っていない、ルータと本製品が正しく接続されていない、ルータの DHCP サーバー機能が有効になっていない、などの理由で、本製品に IP アドレスが配布されていません。ルータの電源は入っているか、本製品と正しく接続されているか、DHCP サーバー機能は有効かどうかを確認してください。

また、ルータを確認した後、次の手順でホームサーバー機能を再起動してください。

1 ホームサーバーカードの POWER ボタンを押します。

ホームサーバーカードの電源が切断されます。電源が切断されない場合は、POWER ボタンを長押し（4 秒以上）します。

2 ホームサーバーカードの POWER ボタンを押し、電源を入れます。

3 STATUS ランプが緑色で点灯することを確認します。

STATUS ランプが緑色に点滅している場合は、「初期化の方法」（[P.96](#)）の手順 2 から操作を行い、ホームサーバー機能を使用可能な状態にしてください。

STATUS ランプがオレンジ色の状態のままであれば、初期化を行います。

初期化方法については、「設定の初期化」（[P.95](#)）をご覧ください。

STATUS ランプが緑色に点滅しているのですが

■ホームサーバー機能がリセットされていて、使用可能な状態になっていません。

この場合は、「初期化の方法」（[P.96](#)）の手順 2 から操作を行い、ホームサーバー機能を使用可能な状態にしてください。

STATUS ランプがオレンジ色のままで緑色に変わりません。

■ホームサーバー機能を再起動してください。

1 ホームサーバーカードの POWER ボタンを押します。

ホームサーバーカードの電源が切断されます。電源が切断されない場合は、POWER ボタンを長押し（4 秒以上）します。

2 ホームサーバーカードの POWER ボタンを押し、電源を入れます。

3 STATUS ランプが緑色で点灯することを確認します。

STATUS ランプがオレンジ色の状態のままであれば、初期化を行います。

初期化方法については、「設定の初期化」（[P.95](#)）をご覧ください。

その他

本製品の電源を入れていないのに、勝手に電源が入ってしまいます。

■ ホームサーバー機能が、自動的に本製品の電源を入れることがあります。

次のような操作を行うと、パソコン本体側の機能を利用するために、ホームサーバー機能側から自動的に本製品の電源を入れる場合があります。故障ではありません。

- ・モバイルアクセスにより、ホームネットワークウェアを利用する
- ・留守番カメラを使用する
- ・共有プリンタを使用する
- ・共有フォルダにアクセスする
- ・テレビ機能を使う

「ホームネットワークウェア」にログインするときに設定した「自動認証」を元に戻す方法は？

■ ログアウトして、設定を解除します。

トップページの「ログアウト」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。設定を解除したいニックネームを選択してから「自動認証を有効にする」のをクリックしてにし、再度ログインすると設定が解除されます。

今まで使用できていた、ホームサーバー機能が使えなくなりました。

■ Windows を再起動してください。

ルータの DHCP リース期間が切れると、ホームサーバーカードに割り当てられている IP アドレスが変わり、ホームサーバー機能が使えなくなる場合があります（このとき、画面右下の通知領域にある「ホームサーバー状態表示」のアイコンが「黒」になります）。Windows を再起動することで、IP アドレスが再度割り当てられます。

電源が勝手に切れてしまうのですが。

■ 本製品が異常に高温になっています。

高温下の環境に放置するなどして本製品が異常に高温になると、STATUSランプが点滅し、2~3分後に電源が自動的に切れます。この場合は、□『パソコンの準備』の「使い始める前に」→「使用上のお願い」をご覧になり、設置場所を見直してください。なお、高温のため電源が切れたことは、「アプリケーションログ」で確認できます。「アプリケーションログ」の参照方法は、HTMLマニュアルの「ホームサーバー機能使い方ガイド」の「第4章 環境設定を行う」→「6 ホームサーバー機能の情報を確認する」をご覧ください。

HTML マニュアルの参照方法は、「HTML マニュアルの開き方」(▶ P.2) をご覧ください。

索引

H

Home Album	78
Home Data	78
HTML マニュアル	2

L

LAN ケーブル接続	67
------------------	----

Q

Q&A	102
-----------	-----

W

Windows ログオン名	59
---------------------	----

あ行

アクセスポイントの設定	39
インターネットプロトコル (TCP/IP) の 設定	68

か行

かんたんセットアップ CD	70
管理者パスワード ー初期化	94

さ行

シリアル番号	37
セットアップ ー準備	33
ー流れ	32
セットアップ (他のパソコン) ー開始	70
ー準備	59
ー流れ	58

た行

ダイレクトアドレス	19
トップページ (PDA)	84
トップページ (携帯電話)	82
トップページ (パソコン)	76

は行

パスワードの初期化	94
フォルダ ー構成	78
ー開く	77
本書の表記	3

ま行

無線 LAN 接続	61
メールチェック ー設定	47
モバイルアクセスサービス	17
モバイルアクセセンター	43
モバイルアドレス	18

ら行

リモートデスクトップ	52, 86
------------------	--------

Memo

ホームサーバー機能 取扱説明書

B6FH-5131-01-00

**発行日 2005年4月
発行責任 富士通株式会社**

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

⑤0503-1